CAR MATE

# エールベベ・グローバ 取扱説明書 補足

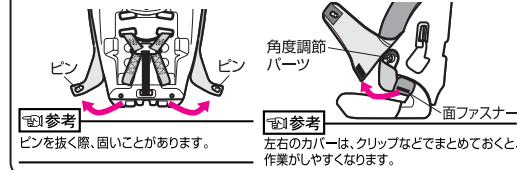
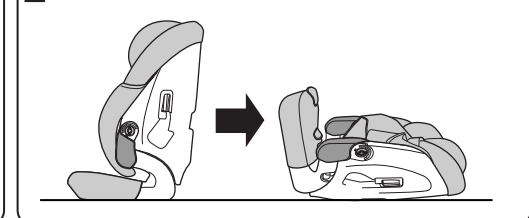
2051-70568

このたびは、エールベベ・グローバをお買い上げいただきましてありがとうございます。本品をご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。また、本紙に記載されている内容も取扱説明書と併せてよくお読みください。

## 背もたれの角度調節方法（抜粋）

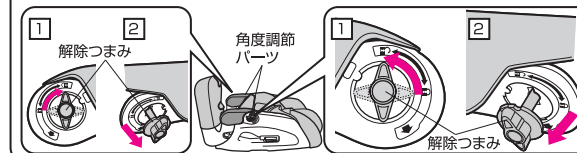
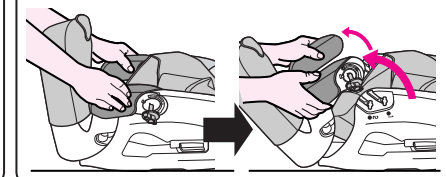
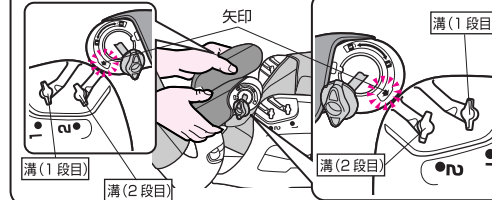
**1** 背もたれ側面のカバーをめくり、角度調節パーツを出します。

1 背もたれ裏側下部にあるピン（2ヶ所）を抜きます。

2 側面の面ファスナー（左右2ヶ所）を外します。

参考
ピンを抜く際、固いことがあります。

参考
左右のカバーは、クリップなどでまとめておくと、作業がしやすくなります。

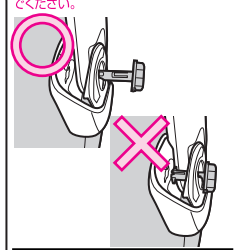
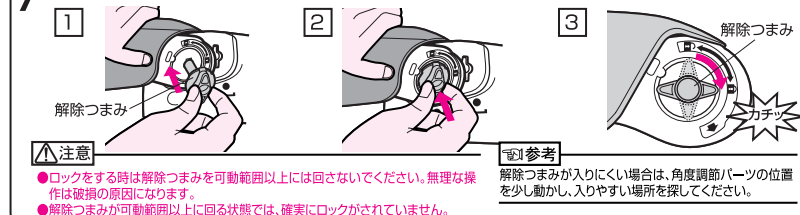
**2** 本体を寝かせます。

**3** 角度調節パーツの解除つまみを下図の赤い矢印の方向に回してロックを解除し、外側に引き出します。解除つまみは角度調節パーツから外れないようになっています。無理に引っ張って抜かないでください。

**4** 角度調節パーツを両手で持ち、持ち上げるようにして背もたれから外します。

**5** 左右の角度調節パーツの青色の矢印をそれぞれ背もたれの溝と合わせます。

**6** 左右の角度調節パーツの青色の矢印を背もたれの溝に沿って押込みます。

注意
解除つまみは外側に出した状態で押込んでください。

**7** 解除つまみを下図のようにしっかりと奥まで差込み、解除つまみを回してロックします。

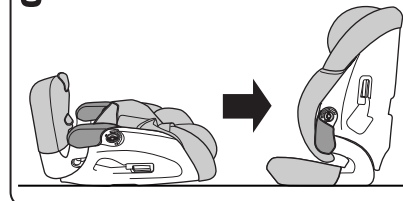
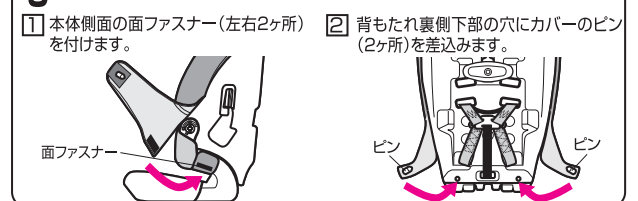
注意
- ロックをする時は解除つまみを可動範囲以上には回さないでください。無理な操作は破損の原因になります。
- 解除つまみが可動範囲以上に回る状態では、確実にロックがされていません。

参考
解除つまみが入りにくい場合は、角度調節パーツの位置を少し動かし、入りやすい場所を探してください。

**8** 本体を起こします。

**9** 背もたれのカバーを元に戻します。

1 本体側面の面ファスナー（左右2ヶ所）を付けます。

2 背もたれ裏側下部の穴にカバーのピン（2ヶ所）を差込みます。

# 10. お問合わせ先

★商品のお問合わせや、替えカバーなどのパーツ購入については……

**カーメイトサービスセンター**

**TEL 03-5926-1212(代表) FAX 03-5926-1218**
パソコン **http://www.carmate.co.jp/toi/**

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故については、当社はその責任を一切負いません。

株式会社カーメイト
本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11



CAR MATE

2051-70526B

AILEBEBE

# GLOVA

グローバ

## エールベベ・グローバ取扱説明書

本品は正しい使用および装着をしないと本来の性能を発揮できません。本書の内容を十分にご理解の上ご使用ください。記載内容にご不明な点がありましたら、当社サービスセンターにお問合わせください。

**本品はヨーロッパ安全基準 ECE R44/04 において下記条件で認可された商品です。**
**(グループ: Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、ユニバーサルカテゴリー)**
●お子さまの体重9kg～36kgのみ使用可能
●当社の適合情報にて取付け可能な車の座席のみ使用可能
詳しくは本書の各項目をご覧ください。

## お客様の登録システムについて

ご登録頂きましたお客様へ、安心の『トリプル保証』でサポートさせて頂きます。

① **3年間の製品ロング保証**
② **万一の事故の際にチャイルドシート無料交換**
③ **チャイルドシート見舞金制度**

注)詳細は同梱のお客様登録カードをお読みいただき、ご登録ください。

⚠警告 本品が入っているビニール袋は、開封後すぐにやぶり捨ててください。お子さまがかぶられますと窒息等の事故に至る可能性があり大変危険です。

http://www.carmate.co.jp

安全にお使いいただくために
背もたれの角度調節方法
チャイルドシートモードの使用方法
ジュニアシートモードの使用方法
ブースターシートモードの使用方法
ジュニアシートモード、ブースターシートモードからチャイルドシートモードへの戻しかた
お手入れのしかた
製品仕様 保管方法 廃棄方法
保証書

# 1. 安全にお使いいただくために

## はじめに

このたびは、エールベベ・グローバをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本品を安全に正しくお使いいただくために、必ずご使用前に本書をよく読み、内容を十分に理解していただきますようお願いいたします。
お読みになった後も、ご使用ごとに必要となりますので、背もたれカバー側面にあるポケットに大切に保管してください。
誤った取付け・使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
なお、本品は万全な品質管理体制のもとに製造されておりますが、万一、本品に関する製造上の問題等が生じた場合、直ちにお客様にお知らせするために登録システムへのご協力をお願いいたします。お手数ですが同梱されておりますお客様登録カードに必要事項をご記入の上、ご投函いただくか、パソコンまたは携帯電話からご登録ください。

取扱説明書は側面のポケットに折りたたんで入れて保管してください。

本品は、車での衝突や急停車などによるお子さまの傷害を軽減することを目的とした年少者用補助乗車装置です。
必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。
安全運転の心がけをお願いいたします。

## 本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。
それぞれの記号とその内容は下記のとおりです。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。 |
| ⚠注意 | 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、物的損害が生ずるおそれがあります。 |
| 参考 | 本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。 |



## 目 次


1. 安全にお使いいただくために 2～13
- はじめに …… 2
- 本書に記載する記号について …… 2
- 目次 …… 3
- 適応条件 …… 4
- 梱包内容の確認 …… 4
- 各部の名称 …… 5～7
- 安全に正しく取付けをするために …… 7
- 取付けできるシートベルト …… 8
- 取付けできないシートベルト・座席 …… 9
- 注意事項 …… 10～12
- 正しい持ちかた …… 13

2. 背もたれの角度調節方法 14～16

3. チャイルドシートモード(9kg～18kg)の使用方法 17～29
- 使用前の準備【肩ハーネス位置の変更など】 …… 17～20
- 取付け前の準備 …… 21
- チャイルドシートモードの取付けかた …… 21～23
- 取付け後のチェック …… 24
- お子さまの乗せかた …… 25～27
- 出発前のチェック …… 28
- お子さまの降ろしかた …… 28
- チャイルドシートの取外しかた …… 29

4. ジュニアシートモード(15kg～36kg)の使用方法 30～41
- ジュニアシートモードへの変更方法【ハーネスの収納方法など】 …… 30～36
- ヘッドレストの位置の合わせかた【ヘッドレストの動かしかた】 …… 37
- 取付け前の準備 …… 38
- お子さまの乗せかた …… 38～40
- 出発前のチェック …… 41
- お子さまの降ろしかた …… 41

5. ブースターシートモード(22kg～36kg)の使用方法 42～47
- ブースターシートモードへの変更方法【背もたれの取外しかた】 …… 42～44
- お子さまの乗せかた …… 45～46
- 出発前のチェック …… 47
- お子さまの降ろしかた …… 47

6.ジュニアシートモード、ブースターシートモードから
チャイルドシートモードへの戻しかた 48～52

7. お手入れのしかた 53～61
- カバーの取外しかた【各部のカバーの取外しかた】 …… 53～56
- カバーの取付けかた【各部のカバーの取付けかた】 …… 56～60
- 製品のお手入れ …… 60～61

8. 製品仕様・保管方法・廃棄方法 62

9. 保証書 63

10. お問合わせ先 64

# 1. 安全にお使いいただくために

## 適応条件

使用モードはお子さまの体重に合わせて選んでください。身長や年齢が条件を満たしている場合でも、体重が適応体重でない場合には、体重に合わせたモードで使用してください。

参考

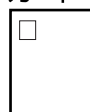
体重が22kg以上36kg以下のお子さまの場合、ブースターシートモードでも使用できますが、可能な限りジュニアシートモードでのご使用をお勧めします。

| 使用モード | チャイルドシートモード | ジュニアシートモード | ブースターシートモード |
|---|---|---|---|
| 適応体重 | 9kg以上18kg以下 | 15kg以上36kg以下 | 22kg以上36kg以下 |
| 身長の目安 | 70cm以上100cm以下 | 100cm以上145cm以下 | 120cm以上145cm以下 |
| 年齢の目安 | 1才～4才ごろ | 3才～11才ごろ | 7才～11才ごろ |
| 参考ページ | P17～P29 | P30～P41 | P42～P47 |
| | | | |
| ご使用時の注意 | お子さまの肩の位置に合わせて、ハーネスの高さを調節してください。(肩ハーネス位置の合わせかた→P17～P20) | お子さまの肩の位置に合わせてヘッドレストの高さを変更してください。(ヘッドレストの位置の合わせかた→ P37) | シートベルトがお子さまの首にかかってしまう場合には、ジュニアシートモードで使用してください。 |

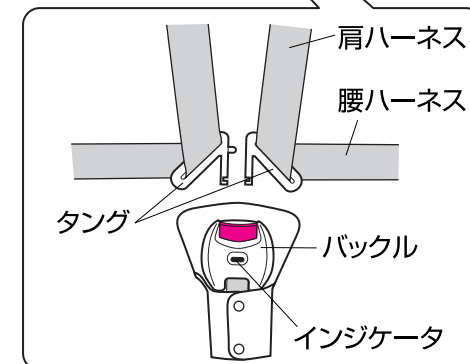
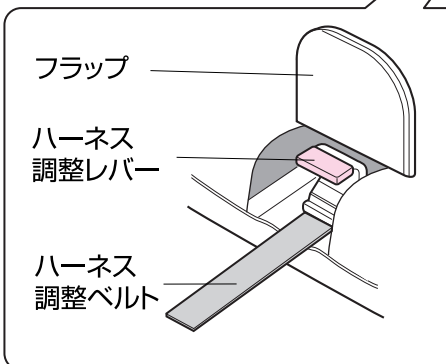
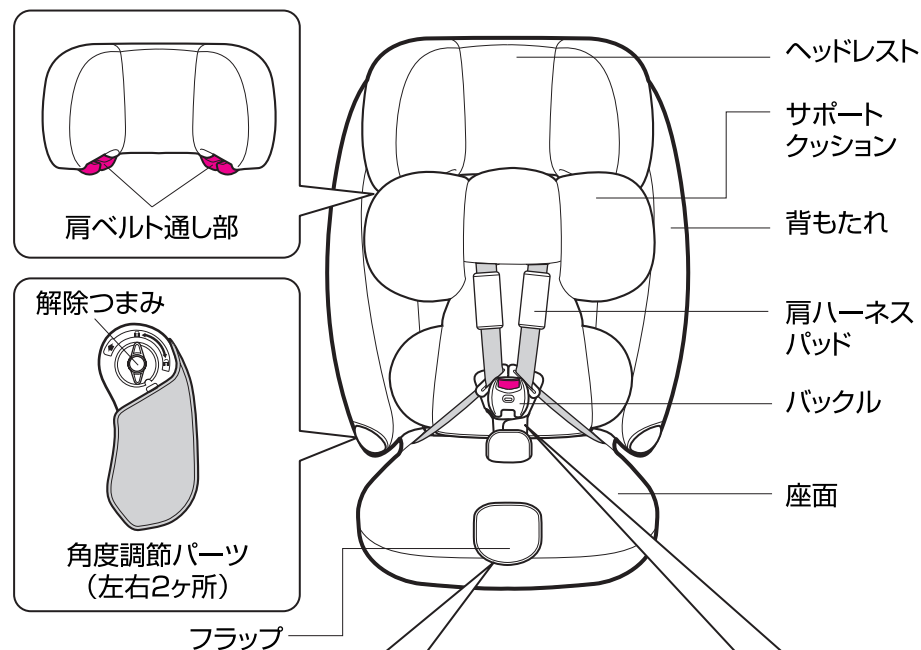
⚠警告

本品をご使用になる前に、必ずP5～P13の内容をお読みください。

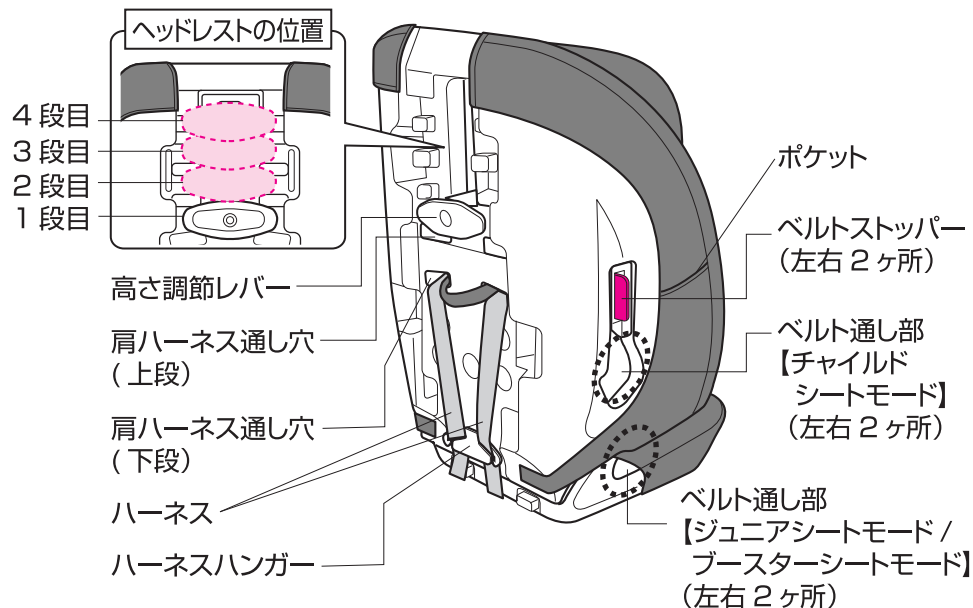
## 梱包内容の確認

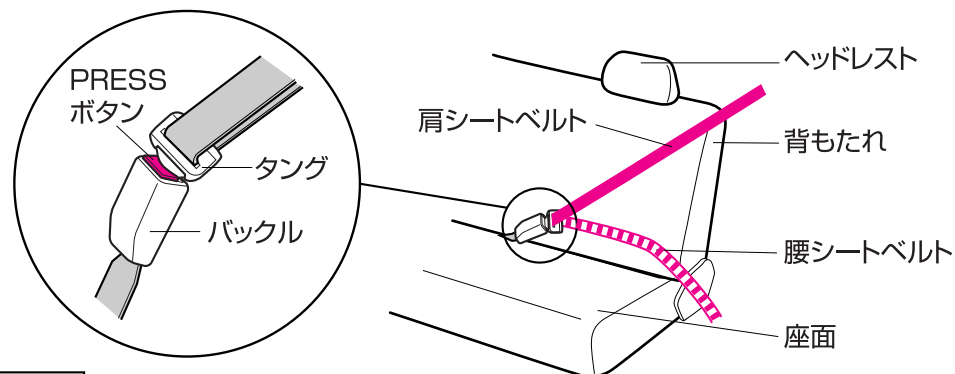
肩ハーネスパッド、サポートクッション、バックルカバーは梱包時には取付けてあります。

## 各部の名称

正面　梱包時には角度調節パーツ、解除つまみはカバーにかくれています。

ヘッドレスト
サポートクッション
背もたれ
肩ハーネスパッド
バックル
座面
肩ベルト通し部
解除つまみ
角度調節パーツ(左右2ヶ所)
フラップ
ハーネス調整レバー
ハーネス調整ベルト
肩ハーネス
腰ハーネス
タング
インジケータ

# 1. 安全にお使いいただくために

## 各部の名称

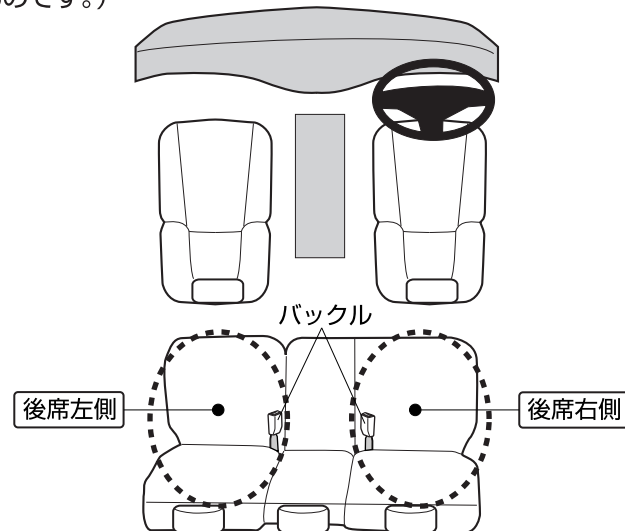
### 背面

### 車のシートベルトの名称

車のシートベルトの名称について本書では以下のように説明しています。

参考

本書では車のシートベルトのタングより上側を肩シートベルト、下側を腰シートベルトと呼んでいます。

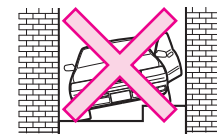
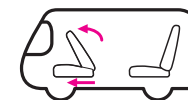


### 取付け座席の名称

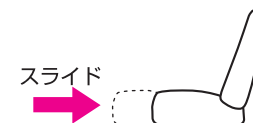
取付け座席の名称について本書では以下のように説明しています。(イラストは車内を上から見たものです。)

●取付けの際に使用するバックルがある方をバックル側、その反対側をベルトストッパー側と呼んでいます。

## 安全に正しく取付けをするために

車に本品を取付ける前に、作業スペースを確保してください。

●取付け作業は本品の持ち運びができ、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

●取付け作業は、前席を倒したり、スライドさせて、できるだけ車内の作業スペースを確保してください。

●取付座席にスライド機能がある場合は、後ろにスライドさせてください。

⚠警告

取付け後はスライドを動かさないでください。

# 1. 安全にお使いいただくために

## 取付けできるシートベルト

本品はヨーロッパ安全基準ECE規則No.16または同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトのみご使用頂けます。取付ける車の車種適合を確認されていない場合は、弊社HP(http://www.carmate.co.jp/)でお調べください。また、ご不明な点がございましたら、巻末に記載のカーメイトサービスセンターへお問い合わせください。

### シートベルトの種類

シートベルトの種類による取付け時の注意事項を下記の表でご確認ください。

| シートベルトの種類 | シートベルトの特徴 | 本品使用時の注意事項 | 使用可否 |
|---|---|---|---|
| **ELR**<br>(緊急時ロック式巻取装置)機能付<br>腰ベルトにELR機能があるものを除く。 | 自動で巻取られ、急ブレーキ、衝突時など急速に引かれるとロックされます。 | 取付け時には、シートベルトを急速に引かずゆっくりと引き出しながら取付けをしてください。 | ○ |
| **ALR/ELR**<br>(チャイルドシート固定)機能付 | ELR機能の特徴に加え、ベルト巻取装置から全部引き出すとALR機能が働きシートベルトがロックされ、巻取ることしかできなくなります。全て巻取るとロックは解除されます。 | ALR機能を作動させないように、シートベルトを必要な分だけ引き出しながら取付けを行ってください。<br>⚠警告<br>ジュニアシートモード、ブースターシートモードでご使用の際には、お子さまがシートベルトを首に巻き付けて遊ばないようにご注意ください。 | ○ |
| **ALR**<br>(自動ロック式巻取装置)機能付 | シートベルトを引き出し、止めた位置でロックされます。 | シートベルトを途中でロックさせないように全て引き出してから取付けをしてください。 | ○ |
| **NR**<br>(マニュアル)方式 | 長さを手動で調整して使用します。 | 使用前に長さ調整をして取付けをしてください。 | ○ |
| **その他** | 上記特徴にあてはまらないもの。 | 本品は使用できません。 | × |



## 取付けできないシートベルト・座席

⚠警告

●腰シートベルトにELR(緊急ロック式ベルト巻取装置)があるもの

●2点式シートベルトの座席

●助手席
(チャイルドシートモードで 使用する場合)

●シートベルトに損傷がある座席
事故等の際に、本品ごとお子さまが投げ出されるおそれがあります。損傷がある場合は、自動車ディーラー等で点検してください。

●エアバッグが装備されている座席
エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって死亡や重傷に至る危険性があります。なお、エアバッグを無作動にできる場合は車の取扱説明書に従ってください。
(サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。)

●パッシブシートベルト(ドアを閉めると自動的に装着されるシートベルト)

●シートベルトがついていない座席
本品が使用できません。

●市販のスポーツタイプシート、又はスポーツタイプシートベルトが装着されている座席
本品が使用できません。

●**片側スライドドアの入り口側座席**
後部座席に同乗者がいる場合、事故などの緊急事態に後部座席の人が脱出できないおそれがあります。

●車の進行方向に対して横向きおよび後向きの座席
衝突の際に、お子さまが放出される危険性があります。

⚠注意

●**本革シートの座席**　本品を使用すると取付け跡が残る場合があります。

### ジュニアシートモード/ブースターシートモードで使用する場合

ジュニアシートモード及びブースターシートモードで使用する場合は、助手席でも使用できますが、以下の点をご確認の上、ご使用ください。

⚠警告

本品を助手席で使用する場合は、各自動車メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

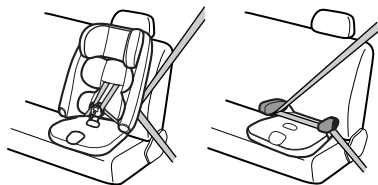
参考

より安全に使用していただくために、後部座席でのご使用をおすすめします。

# 1. 安全にお使いいただくために

## 注意事項　取扱上守るべき重要な注意ですので必ずお読みください。

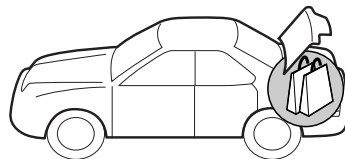
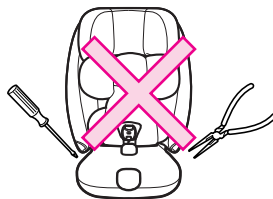
### ⚠警告

●お子さまが座らない時はトランクにしまうか車のシートベルトで固定してください。本品が車内を転がり、運転の妨げとなるおそれがあります。

●事故や落下により本品が強い衝撃を受けた場合は、本品の使用をおやめください。外観上破損が見えなくても強度が下がっている場合があります。油性ペン等で本品に「廃棄」「事故品」等を明記のうえ廃棄してください。

●本品は必ず車のシートベルトで固定してお使いください。シートベルト以外で固定すると本品が脱落したり、衝突の際にお子さまが投げ出されて危険です。市販のベルトやロープ等は、使用しないでください。

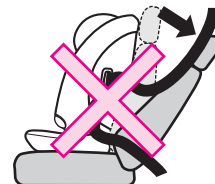
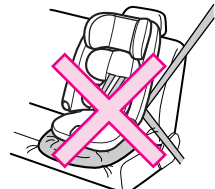
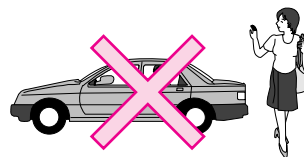
●本品をチャイルドシートモードでご使用の際は、必ず車のシートベルトで取付けをし、お子さまはチャイルドシートのハーネスを着用してください。また、ジュニアシートモード、ブースターシートモードでご使用の際は、必ず車のシートベルトを着用してください。本品のみでは使用しないでください。

●夏期や暑い日は樹脂部分等が熱くなります。お子さまを乗せる際は必ず触って熱さの程度を調べ、やけどしないことを確認してください。（大人があまり熱く感じなくても、お子さまの場合は低温やけどをすることがありますのでご注意ください。）また日差しの強いときは日陰に駐車するか、本品にタオル等をかけておくことをおすすめします。

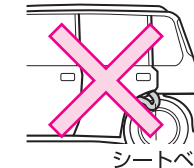
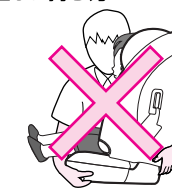
●衝突の際に傷害を与える可能性のある荷物などは適切に固定するか、トランク内に収納するようにしてください。

●本品を改造しての使用、または本書に記載されていない取付けや使用は、しないでください。本品の性能が十分に発揮できません。

●背もたれ部のみの使用等、本書に記載されていない組み合わせでは使用しないでください。

### ⚠警告

●本品のカバーやクッションを外しての使用、または当社指定以外のカバーを取付けるなど付加しての使用はおやめください。本来の性能が十分に発揮できません。

●本品の取付確認後に取付座席をスライドまたはリクライニングはしないでください。シートベルトがゆるむことがあります。

●お車のシートにクッションや座ぶとんを敷いて取付けしないでください。本品の性能が十分に発揮できません。

●お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子さまを車内に置き去りにしないでください。特に夏場は車内が高温になり大変危険です。

●走行中に本品の取付けや操作をしないでください。本品の取付け状態の確認および操作は、安全な場所に停車して行ってください。

●ジュニアシートモード、ブースターシートモードで使用する場合は、シートベルトがお子さまの首にかからない位置で使用してください。
（ヘッドレストの位置の合わせかた→P37）

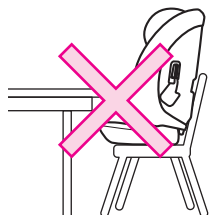
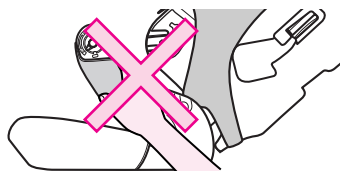
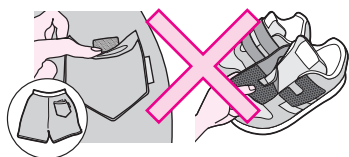
●本品の取付けや使用の際、本品やシートベルト等をドアまたはシートの間等にはさまないようにしてください。

●本品にお子さまを乗せたまま持運ばないでください。持運ぶ際に不安定になり落下のおそれがあります。（本品の正しい持ち方→P13）

●お子さまがシートベルトを首に巻き付けて遊ばないようご注意ください。特にチャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合は、ロックがかかるおそれがあり大変危険です。

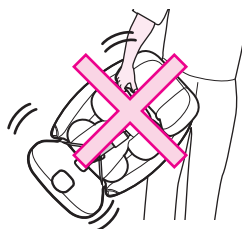
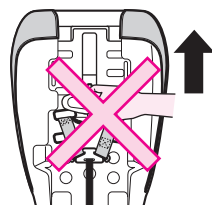
●適応条件に合わないお子さまは使用しないでください。

# 1. 安全にお使いいただくために

## 注意事項　取扱上守るべき重要な注意ですので必ずお読みください。

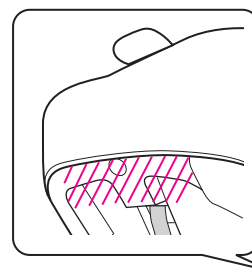
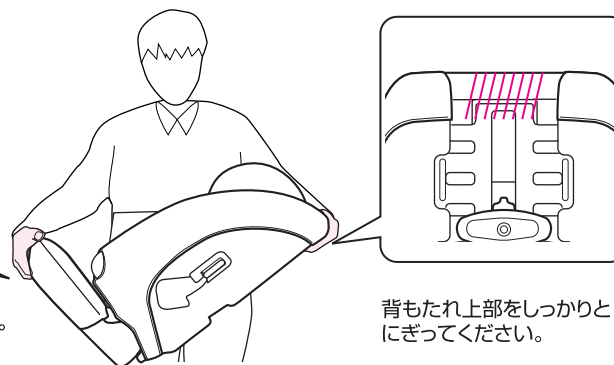
### ⚠注意

●本品は車内専用品のため、車外では使用しないでください。破損や怪我の原因となります。

●背もたれ角度の調節時には、可動部に指等をはさまないようにしてください。同乗者に他のお子さまがいる場合には特に注意してください。

●お子さまの靴や衣服の面ファスナーが本品のカバーに触れる(引っかかる)と生地が傷むおそれがあります。

●本品を持運ぶ場合は、座面と背もたれの間に指をはさまないように注意してください。また、角度調節パーツ、ベルトストッパーに手をかけないでください。怪我をするおそれがあります

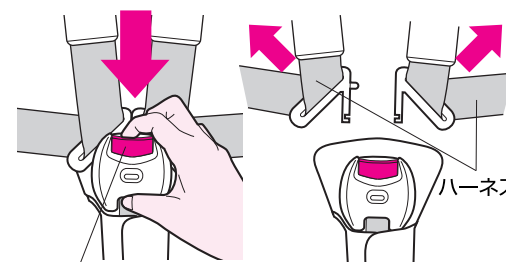
●ヘッドレストだけを持っての持ち運びはしないでください。破損や怪我につながるおそれがあります。

●チャイルドシートモードの時はヘッドレストの操作を行わないでください。本品が破損するおそれがあります。

### 参考

●お子さまのために休憩をとりましょう。長時間同じ姿勢でいると、ぐずる原因になります。
●走行中は、お子さまに飲食物をあげるのはひかえましょう。万一の時に、お子さまが喉に飲食物を詰まらせることがあります。



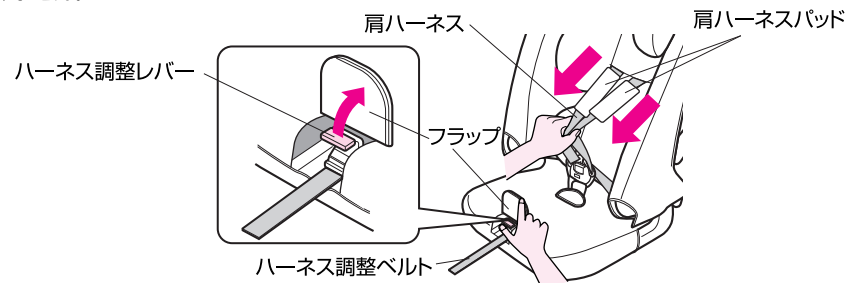
## 正しい持ちかた

座面裏側のへこみ部分にしっかりと指をかけてください。

背もたれ上部をしっかりとにぎってください。

## 緊急事態には

事故などの緊急事態には、バックルの赤いボタンを下に押してハーネスをお子さまの腕から外し、すみやかに安全な場所へ避難してください。
ジュニアシートモード、ブースターシートモードでご使用の際は、お子さまを拘束している車のシートベルトを外し、すみやかに安全な場所へ避難してください。

### 参考

肩ハーネスをお子さまの腕から外しにくい場合は、ハーネスをゆるめてから行ってください。

#### 肩ハーネスのゆるめかた

ハーネス調整レバーを上げながら、肩ハーネスを引っ張る。肩ハーネスパッドを引っ張っても肩ハーネスはゆるみません。

# 2. 背もたれの角度調節方法

本品は、より車の座席の角度に合わせるため背もたれの角度を2段階に調節できます。

背もたれ角度1段目

背もたれ角度2段目

**⚠警告**

●本品の背もたれの角度を変更する際は安全な場所に車を止め、お子さまを本品から降ろし、車のシートベルトを本体から外した状態で行ってください。
●角度調節時に、操作者やその近くにいる人が、本品の座面と背もたれの間に指や手をはさまないように注意してください。

**⚠注意**

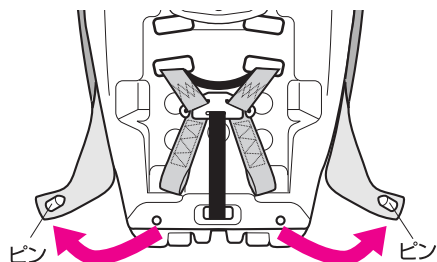
●本品を立てた状態で角度調節パーツが背もたれから外れている時は、背もたれが後ろに倒れやすくなっていますので、注意して作業してください。
●背もたれ角度を2段目にしている時は、本体が後ろに倒れやすくなっていますので、注意してください。

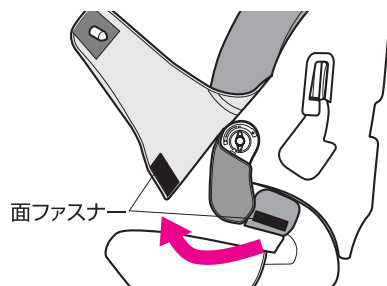
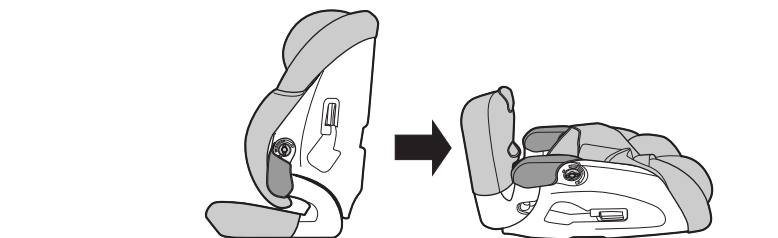
**参考**

車内で作業する場合は、前席を倒すなどして、スペースを広くとると作業がしやすくなります。

**1** 背もたれの側面のカバーをめくり、角度調節パーツを出します。

1 背もたれ裏側下部にあるピン（2ヶ所）を抜きます。

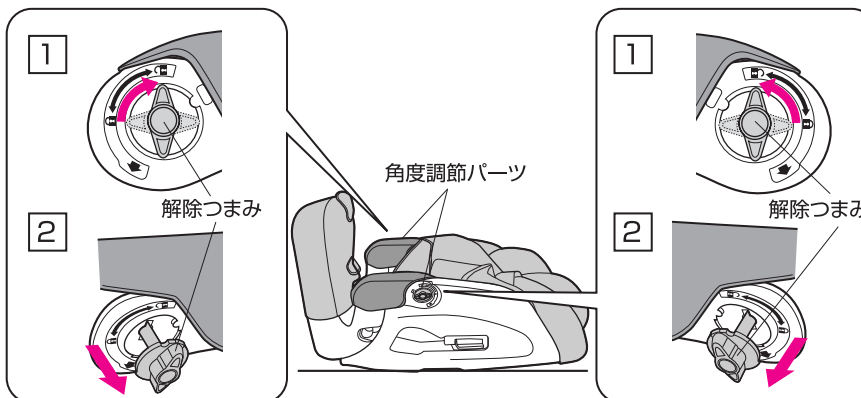
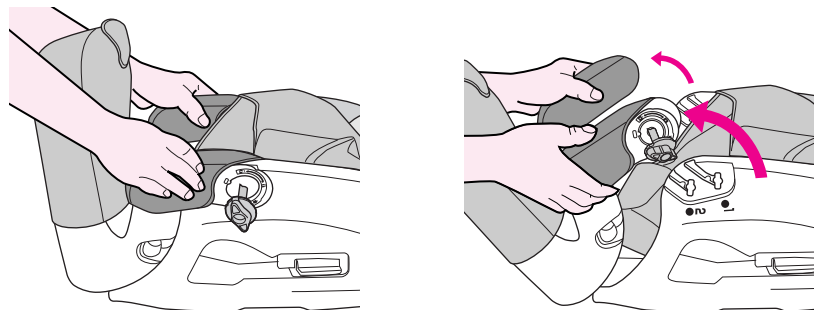
**参考**

ピンを抜く際、固いことがあります。

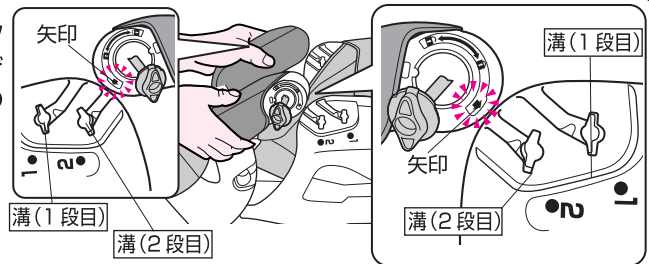
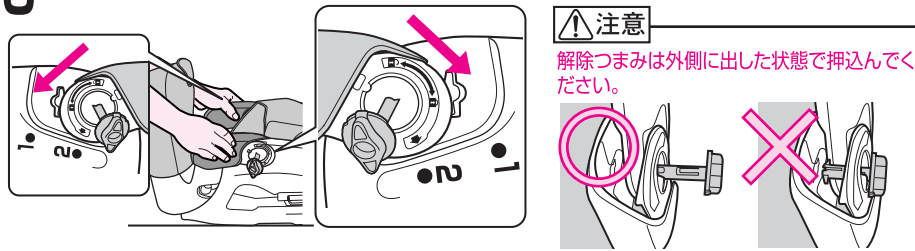
2 カバーをめくり側面の面ファスナー（左右2ヶ所）を外します。

**参考**

左右のカバーは、クリップなどでまとめておくと、作業がしやすくなります。



**2** 本体を寝かせます。

**3** 角度調節パーツの解除つまみを下図の赤い矢印の方向に回してロックを解除し、外側に引き出します。解除つまみは角度調節パーツから外れないようになっています。無理に引っ張って抜かないでください。

**4** 角度調節パーツを両手に持ち、持ち上げるようにして背もたれから外します。

# 2. 背もたれの角度調節方法

**5** 左右の角度調節パーツの青色の矢印をそれぞれ背もたれの溝と合わせます。

**6** 左右の角度調節パーツの青色の矢印を背もたれの溝に沿って押込みます。

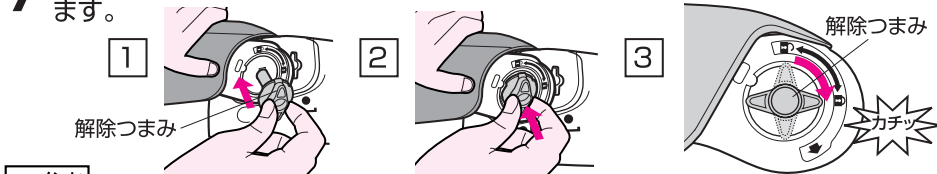
⚠注意

解除つまみは外側に出した状態で押込んでください。

**7** 解除つまみを下図のようにしっかりと奥まで差込み、解除つまみを回してロックします。

1
2
3
☞参考

解除つまみが入りにくい場合は、角度調節パーツの位置を少し動かし、入りやすい場所を探してください。

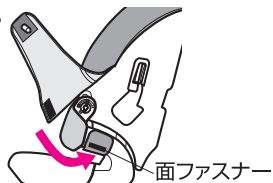
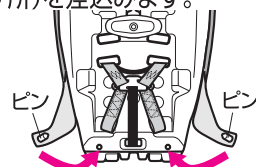
⚠注意

●ロックをする時は解除つまみを可動範囲以上には回さないでください。無理な操作は破損の原因になります。
●解除つまみが可動範囲以上に回る状態では、確実にロックがされていません。

**8** 本体を起こし、背もたれのカバーを元に戻します。

1 本体側面の面ファスナー（左右2ヶ所）を付けます。

面ファスナー

2 背もたれ裏側下部の穴にカバーのピン（2ヶ所）を差込みます。

ピン　ピン



# 3. チャイルドシートモード（9kg～18kg）の使用方法

## 使用前の準備

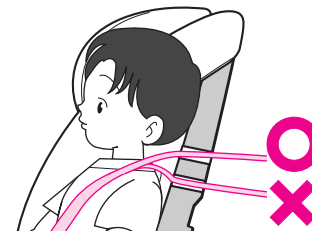
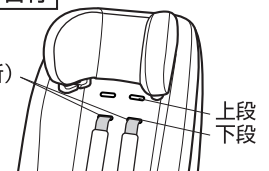
体重9kg以上18kg以下のお子さまはチャイルドシートモードで使用してください。
チャイルドシートモードでは、本品は車のシートベルトで固定し、お子さまには本品のハーネスを使用します。
・身長の目安：70cm以上100cm以下
・年齢の目安：1才～4才ごろ
使用するモードは、体重に合わせて決定してください。

☞参考

体重が15kg以上のお子さまはジュニアシートモードでも使用できます。
（ジュニアシートモードの使用方法→P30～P41）

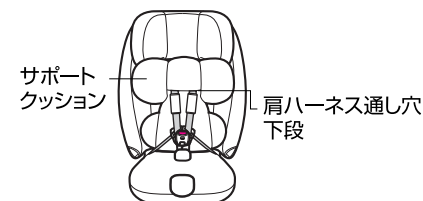
## 肩ハーネス位置の合わせかた

梱包時には肩ハーネスは下段に通してあります。お子さまを座らせた時に、下段の肩ハーネス通し穴より上にお子さまの肩が来る場合には上段に付け替えてください。
調節が不要な場合は、取付け前の準備（P21）へお進みください。
また、上段よりも上に肩が来る場合にはジュニアシートモードで使用してください。
（ジュニアシートモードの使用方法→P30～P41）

☞参考

肩ハーネス通し穴周辺の名称

⚠警告

●肩ハーネスパッドは安全のため必ず使用してください。
●肩ハーネス通し穴は、必ずお子さまの体格に合わせて調節してください。また、肩ハーネス通し穴を上段で使用する場合は、サポートクッションを使用しないでください。使用方法を誤ると、事故などの際、十分な効果を発揮できず、大変危険です。

**肩ハーネス通し穴下段**

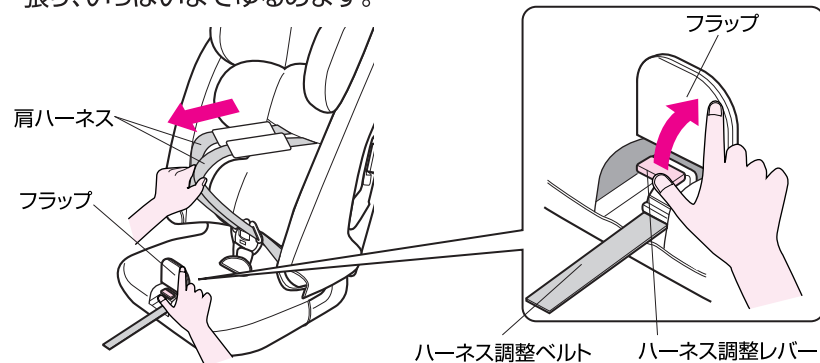
サポートクッションを使用する

**肩ハーネス通し穴上段**

サポートクッションを使用しない

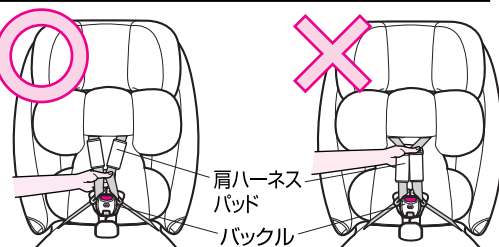
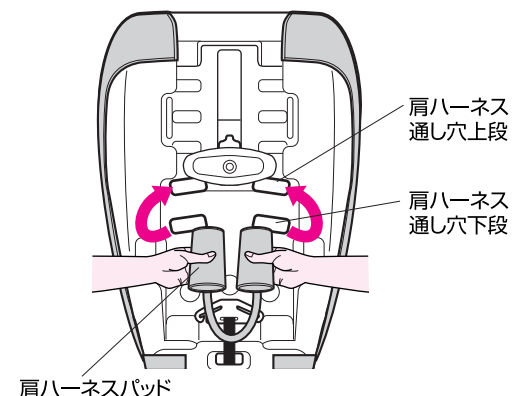
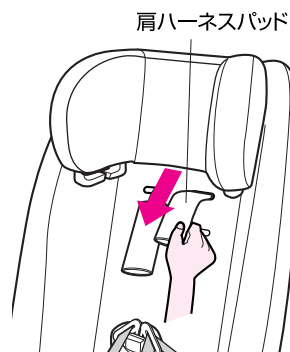
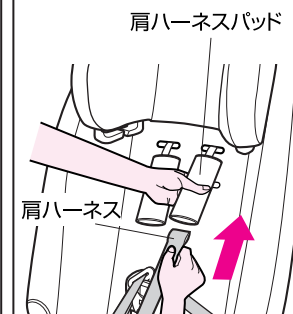
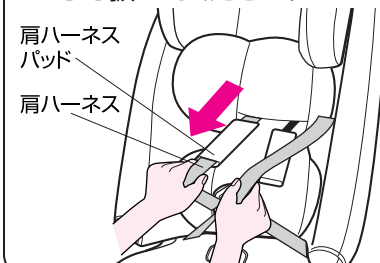
# 3. チャイルドシートモード(9kg～18kg)の使用方法

## 使用前の準備

### 肩ハーネス位置の変更方法

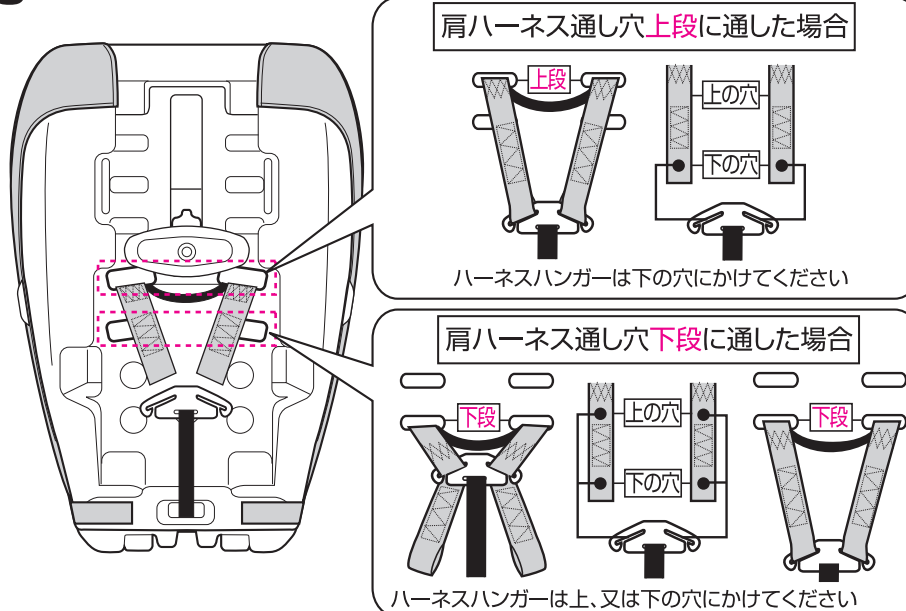
**1** フラップをめくり、ハーネス調整レバーを上げながら肩ハーネスを手前に引っ張り、いっぱいまでゆるめます。

参考
肩ハーネスを引っぱる際は、バックルのすぐ上をつかむと引っ張りやすくなります。
肩ハーネスパッドを引っ張っても肩ハーネスはゆるみません。

**2** 本体裏側にあるハーネスハンガーから肩ハーネスを外します。

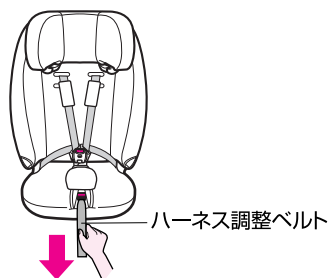
**3** 本体を正面に向け、肩ハーネスを引き抜きます。肩ハーネスパッドからも抜いてください。

**4** 本体裏側から肩ハーネスパッドを引き抜きます。サポートクッションを取外し（サポートクッションの取外しかた→P53）、肩ハーネスパッドを下段から上段に付け替えます。肩ハーネスパッドはゴム面が下になるように通してください。取り外したサポートクッションは、なくさないように大切に保管してください。

**5** 本体正面から、肩ハーネスパッドを引き出します。

**6** 本体正面から肩ハーネスパッドに肩ハーネスを通します。肩ハーネスがねじれないように、入れる向きに注意してください。

**7** 肩ハーネスパッドを通した肩ハーネス通し穴に肩ハーネスを通します。

# 3. チャイルドシートモード(9kg～18kg)の使用方法

## 使用前の準備

### 肩ハーネス位置の変更方法(つづき)

**8** 本体裏側でハーネスハンガーに肩ハーネスを通します。

⚠警告

- 肩ハーネス通し穴下段に通した際のハーネスハンガーのかける位置は、お子さまの体格に合わせて決定してください。(P27)
- 肩ハーネスはハーネスハンガーの切り込みが見えるように正しくかけてください。正しくかけないと、肩ハーネスが外れるおそれがあります。
- 肩ハーネスが半がかりにならないようにしてください。
- 肩ハーネス、ハーネスハンガーが付いているベルトは、ねじれないようにしてください。

**9** 本体を正面に向け、ハーネス調整ベルトを引っ張り、ハーネスのたるみを取ります。

## 取付け前の準備

- 車のシートにスライド機能がついている場合は、できるだけ後ろに下げてください。
- 肩ハーネスの位置を調節してください。(肩ハーネス位置の合わせかた、肩ハーネス位置の変更方法→P17～P20)
- 肩ハーネスを肩ハーネス通し穴の上段に通して使用する場合は、サポートクッションを取外してください。(梱包時には取り付けてあります。)

## チャイルドシートモードの取付けかた

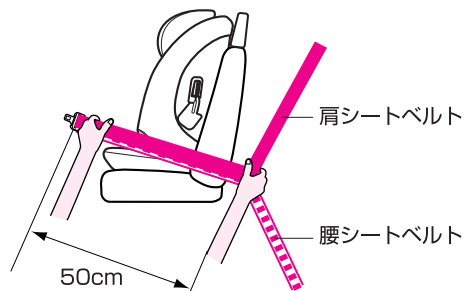
取付けかたのイラストは後席左側に取付けた場合のものです。

**1** 取付けを行う座席に本品を置きます。本品の座面と背もたれは車のシートの座面と背もたれに密着させて置いてください。特に、座面の先端と背もたれの上部は必ずシートとの間に隙間がないようにしてください。
車の座席のヘッドレストが本品と当たり、密着できない場合には、車の座席のヘッドレストを上げるか、取外してください。

参考

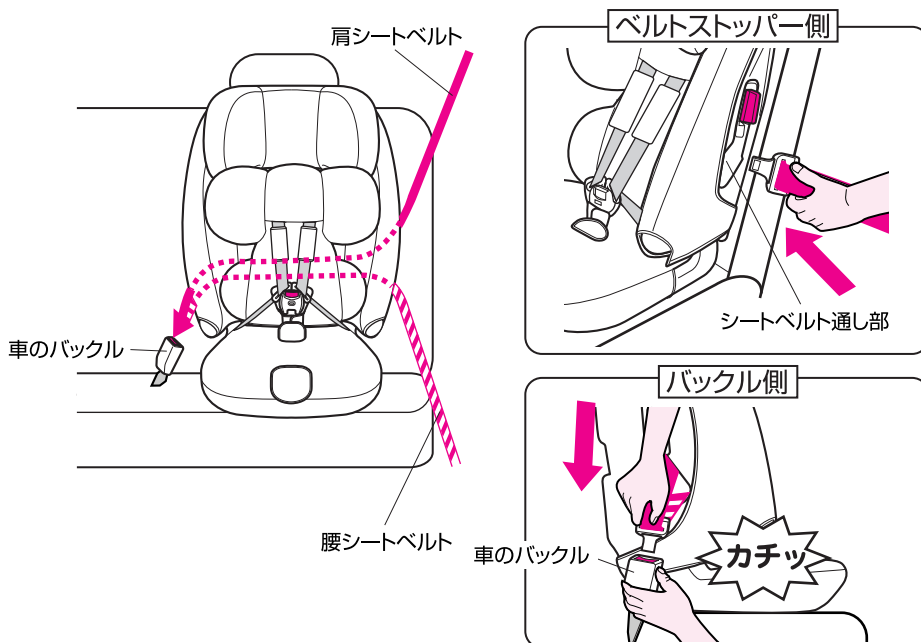
- 車の座席がリクライニングできる場合には、本品の背もたれが車の座席と密着するように、リクライニングの角度を調節してください。
- 車の座席がリクライニング出来ない場合は、本品の背もたれの角度を調節してください。(背もたれの角度調節方法→P14～P16)

## チャイルドシートモードの取付けかた(つづき)

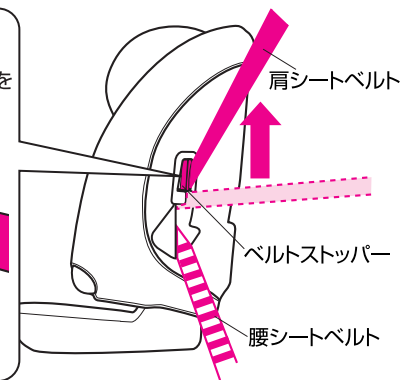
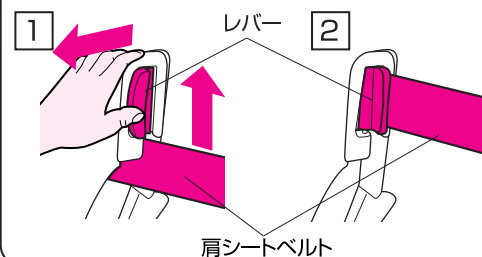
**2** シートベルトを引き出し、肩シートベルトと腰シートベルトを50cm程度重ね合わせます。

**3** 重ね合わせたシートベルトがねじれないようにシートベルト通し部に通し、車のバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差込みます。

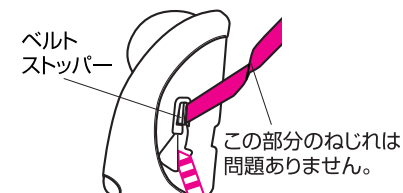
肩シートベルト
車のバックル
腰シートベルト

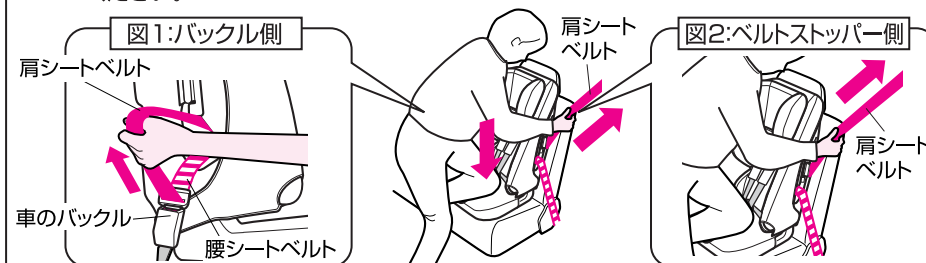
ベルトストッパー側

シートベルト通し部

バックル側

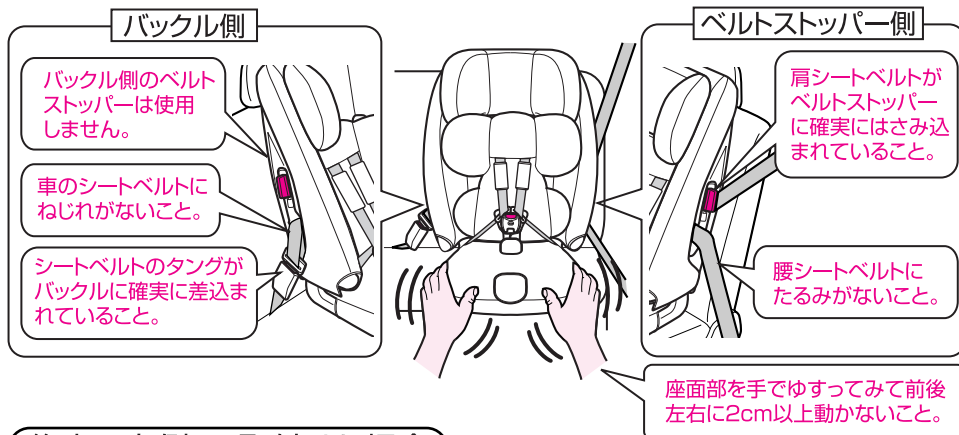
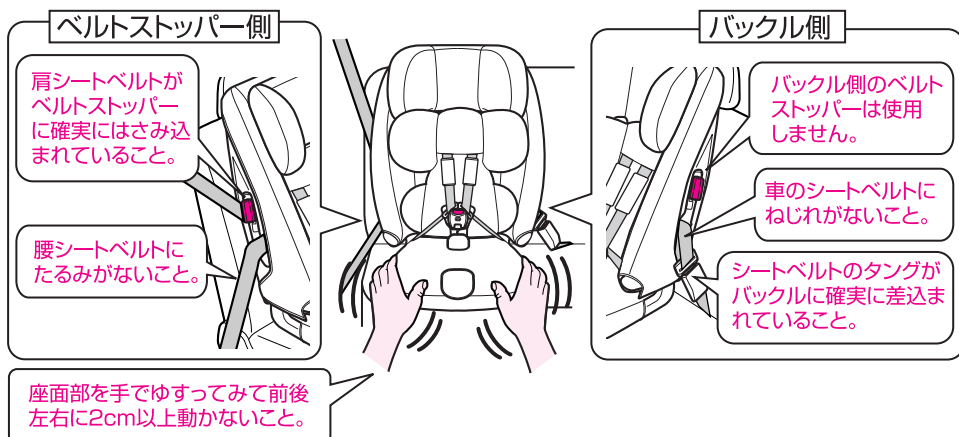
車のバックル
カチッ

**4** ベルトストッパー側で肩シートベルトをベルトストッパーにはさみ込みます。

⚠警告

- 車のバックル側のベルトストッパーは使用しません。
- 車のシートベルトの位置により、ベルトストッパーからシートベルトの出ている位置の間のシートベルトがねじれることがありますが、問題はありません。
それ以外の部分はねじれのないようにしてください。

**5** 以下の要領で本品を車の座席に取付けます。

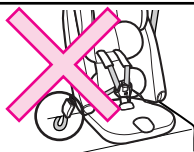
①本品に体重をかけ、車の座席に押し付けながら、
②バックル側で肩シートベルトを引っ張り、腰シートベルトのたるみを取りながら(図1)、
③ベルトストッパー側で肩シートベルトを引っ張ります(図2)。
(肩シートベルトはベルトストッパーにはさんだままで引いてください)
シートベルトにたるみがある場合は、たるみがなくなるまで、②③の動作を数回行ってください。

# 3. チャイルドシートモード(9kg〜18kg)の使用方法

## 取付け後のチェック

### 後席の左側へ、取付けた場合

### 後席の右側へ、取付けた場合

**⚠警告**

- 上記の各項目が満たされていれば取付けは完了です。1つでも満たされていない場合は取外して初めから取付け直してください。(チャイルドシートの取外しかた→P29)
- タングをバックルに差し込んだ状態でシートベルトが正しく取付けできない座席には取付けできません。

**参考**

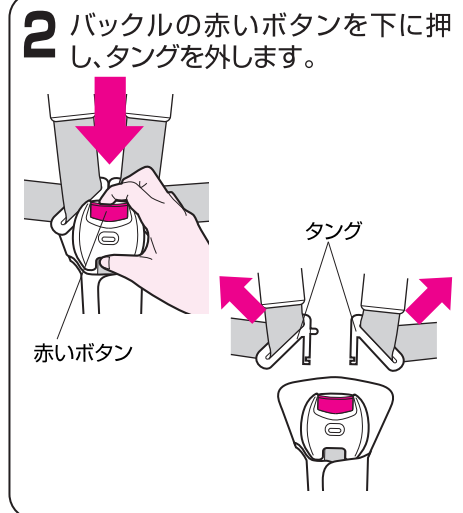
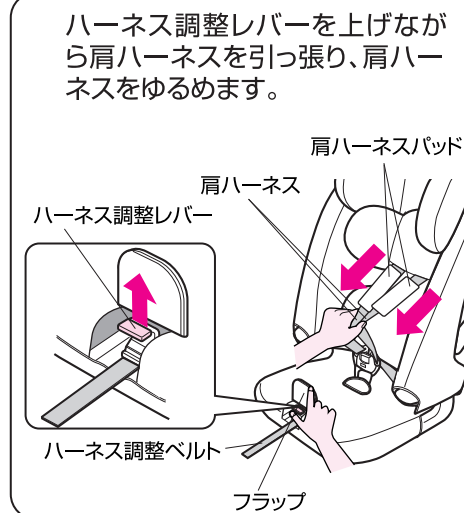
取付けに関してご不明な点がありましたら、巻末に記載の当社サービスセンターにお問合わせください。


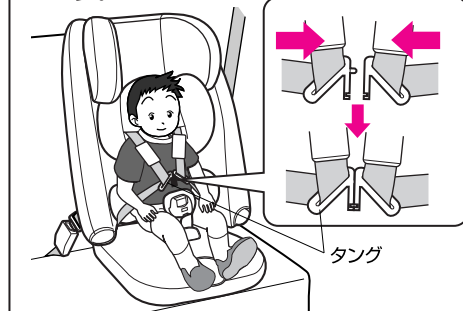

## お子さまの乗せかた

**⚠警告**

- お子さまを乗せる前に、しっかりと取付けが行われているか確認してください。(取付け後のチェック→P24)
- 肩ハーネスの高さが適正か確認してください。(肩ハーネス位置の合わせかた、肩ハーネス位置の変更方法→P17〜P20)

1 ハーネス調整レバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます。

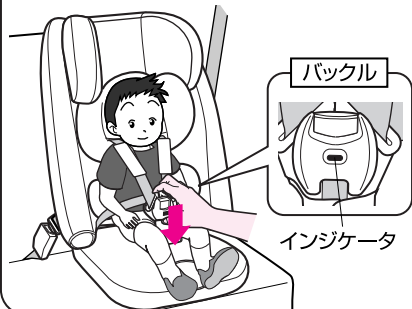
2 バックルの赤いボタンを下に押し、タングを外します。

3 お子さまを座面に座らせます。お子さまの背中と本品の背もたれが密着するように座面に深く座らせてください。

4 お子さまの腕を肩ハーネスに通し、左右のタングを重ね合わせます。

**参考**

タングは重ね合わせないとバックルに差込めません。

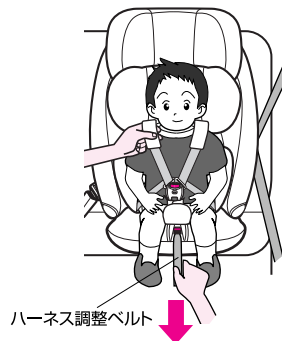
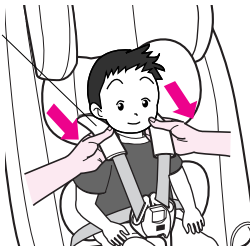
# 3. チャイルドシートモード(9kg～18kg)の使用方法

## お子さまの乗せかた(つづき)

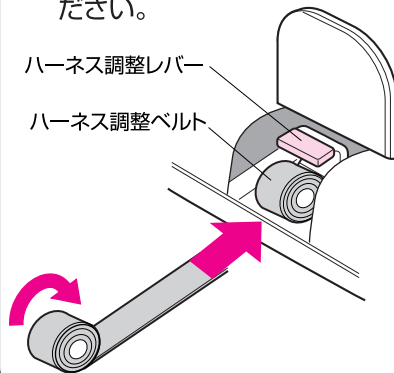
**5** 重ね合わせたタングをバックルに差込みます。インジケータが赤から緑にかわり、しっかりとロックされていることを確認してください。

⚠警告

●バックルに異物が入らないように注意してください。入ってしまった場合には、そのまま使用せず巻末に記載の当社サービスセンターにお問合わせください。(預かり修理扱いとなります。)

●お子さまの肩位置が、肩ハーネス通し穴下段より下で、ハーネスを一番ゆるめた状態でも、タングがバックルに差込めない場合は、そのままでは使用できません。本体裏側でハーネスハンガーを下の穴へかけなおしてください。(肩ハーネスが短くて使用できない場合→P27)

**6** お子さまの胸部と肩ハーネスパッドの隙間に大人の指が1～2本入る程度にハーネス調整ベルトを引いてください。

**7** 肩ハーネスパッドの位置を整えます。

⚠警告

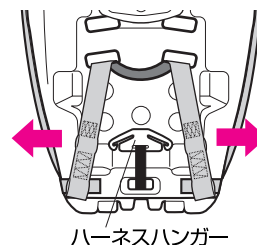
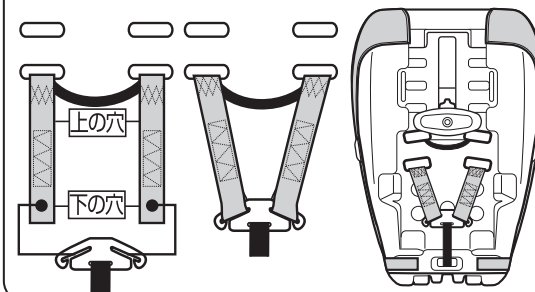
背もたれの後ろに、肩ハーネスパッドのベルトがあまらないように、しっかりと引き出し、左右の長さをそろえてください。

**8** ハーネス調整ベルトは丸めてハーネス調整レバーの前に収納してください。

⚠警告

お子さまの肩位置が、肩ハーネス通し穴下段より下で、ハーネスを一番ゆるめた状態でも、タングがバックルに差込めない場合は、そのままでは使用できません。
下記のように本体裏側でハーネスハンガーを下の穴へかけなおしてください。

## 肩ハーネスが短くて使用できない場合

作業はお子さまを本品から降ろし、シートベルトを取外した状態で行ってください。
(チャイルドシートの取外しかた→P29)

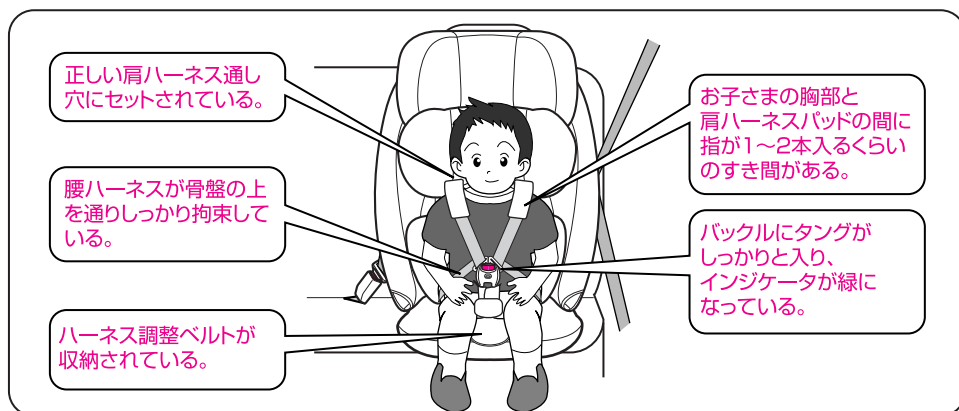
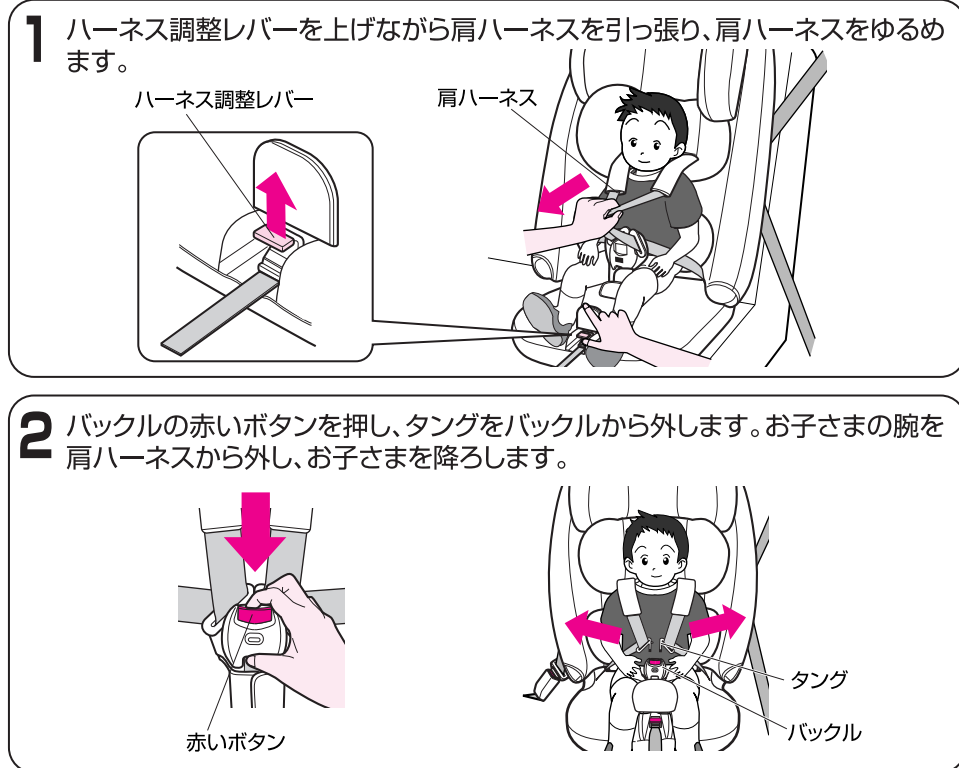
**1** 本体裏側にあるハーネスハンガーから肩ハーネスを外します。

**2** ハーネスハンガーを下の穴へかけなおします。

**3** チャイルドシートモードの取付けかたに従って、本品の取付けを行ってください。(チャイルドシートモードの取付けかた→P21～P23)

# 3. チャイルドシートモード(9kg～18kg)の使用方法

## 出発前のチェック

## お子さまの降ろしかた

**1** ハーネス調整レバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます。

**2** バックルの赤いボタンを押し、タングをバックルから外します。お子さまの腕を肩ハーネスから外し、お子さまを降ろします。

## チャイルドシートの取外しかた

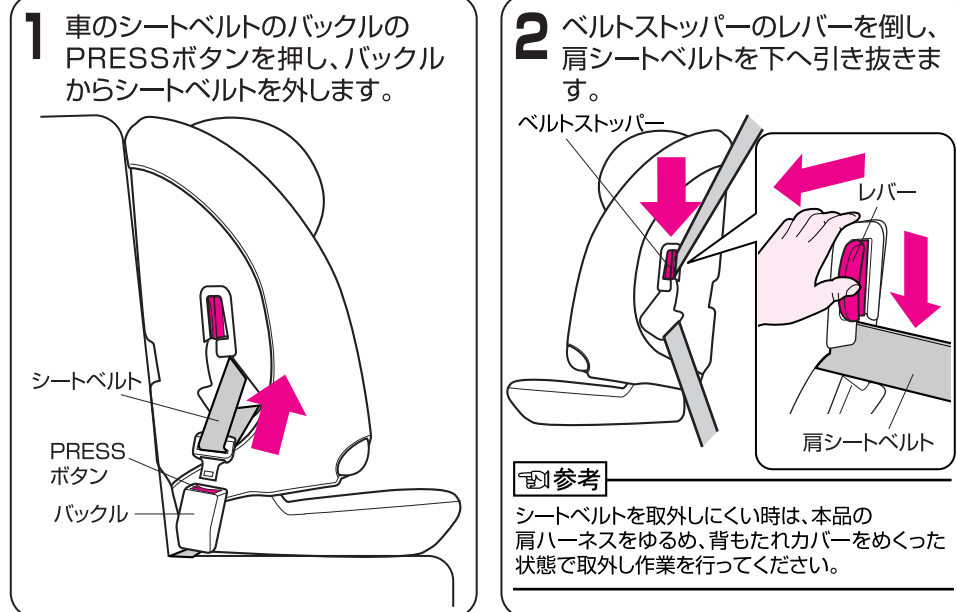
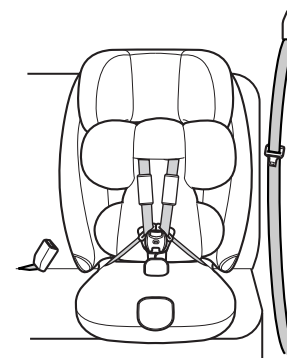
**⚠警告**

- 本品を取外す際は、車を安全な場所へ停めてから行ってください。
- 本品を取外す際は、お子さまを本品から降ろして行ってください。

**1** 車のシートベルトのバックルのPRESSボタンを押し、バックルからシートベルトを外します。

**2** ベルトストッパーのレバーを倒し、肩シートベルトを下へ引き抜きます。

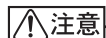
**参考**

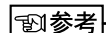
シートベルトを取外しにくい時は、本品の肩ハーネスをゆるめ、背もたれカバーをめくった状態で取外し作業を行ってください。

**3** 車のシートベルトをもとに戻し、座席から本品を取外してください。

# 4.ジュニアシートモード(15kg~36kg)の使用方法

体重が15kg以上36kg以下のお子さまの場合、チャイルドシートのハーネスは使用せず、車のシートベルトで直接お子さまを拘束します。

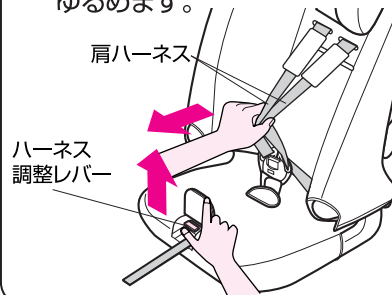
## ジュニアシートモードへの変更方法

本品のハーネスを収納します。

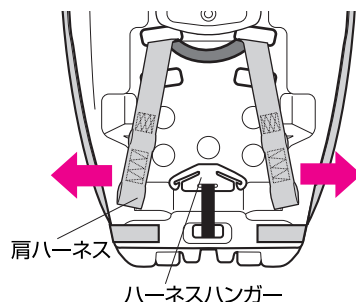
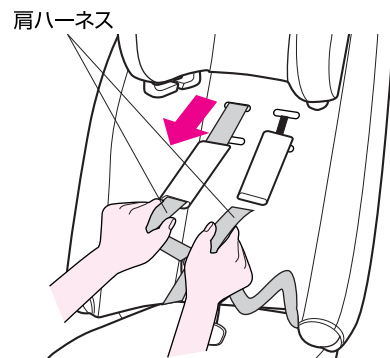
**⚠注意**

取外した肩ハーネスパッドとバックルカバーは、なくさないように大切に保管してください。

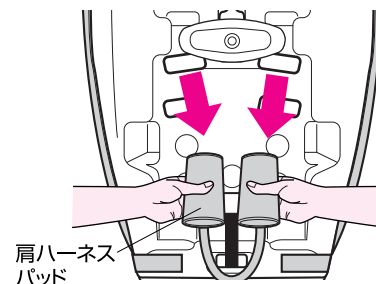
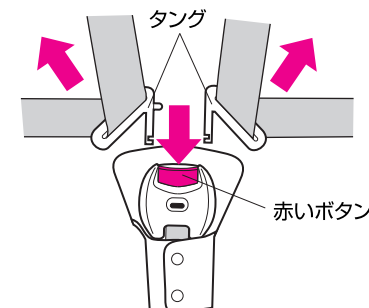
**参考**

体重が22kg以上36kg以下のお子さまの場合、ブースターシートモードでも使用できますが、可能な限りジュニアシートモードでのご使用をお勧めします。(ブースターシートモードの使用方法→P42~P47)

## ハーネスの収納方法

**1** ハーネス調整レバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、ハーネスをゆるめます。

肩ハーネス

ハーネス調整レバー

**2** 本体裏側にあるハーネスハンガーから肩ハーネスを外します。

**3** 本体正面から肩ハーネスを引き抜きます。

**4** 本体裏側から、肩ハーネスパッドを引き抜きます。肩ハーネスパッドはなくさないように大切に保管してください。

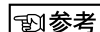
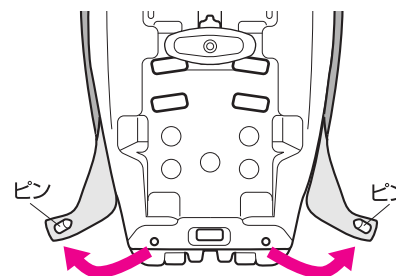
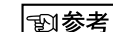
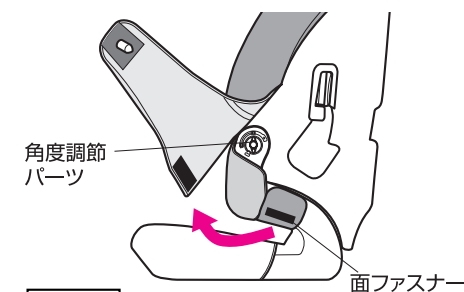
肩ハーネスパッド

**5** バックルの赤いボタンを押し、タングをバックルから外します。

**6** 背もたれの側面のカバーをめくり、角度調節パーツを出します。

1 背もたれ裏側下部にあるピン(2ヶ所)を抜きます。

**参考**

ピンを抜く際、固いことがあります。

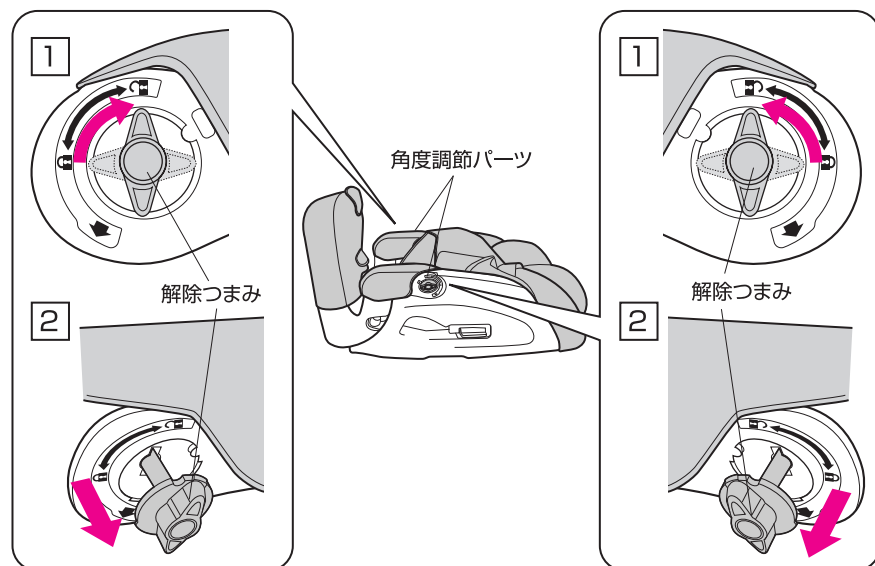
2 本体側面の面ファスナー(左右2ヶ所)を外します。

**参考**

左右のカバーは、クリップなどでまとめておくと、作業がしやすくなります。

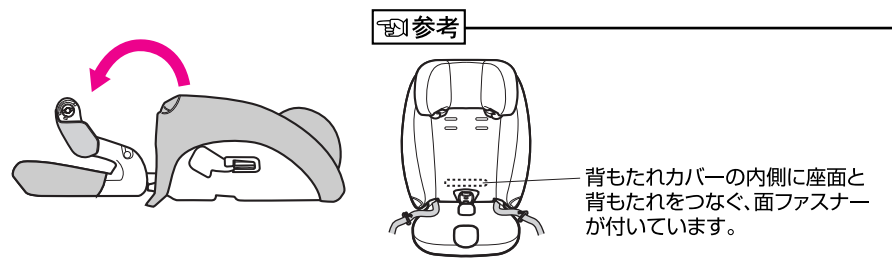
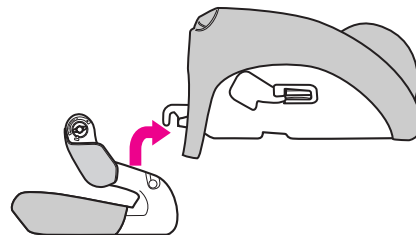
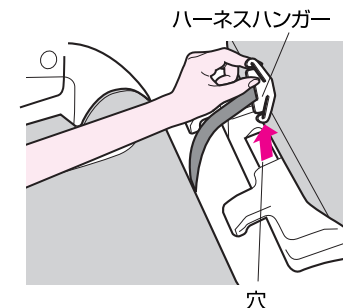
# 4.ジュニアシートモード(15kg~36kg)の使用方法

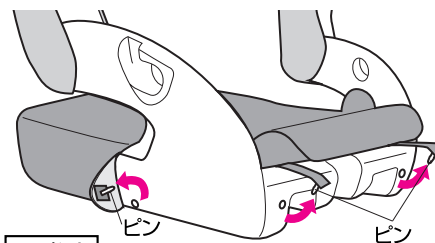
## ジュニアシートモードへの変更方法(つづき)

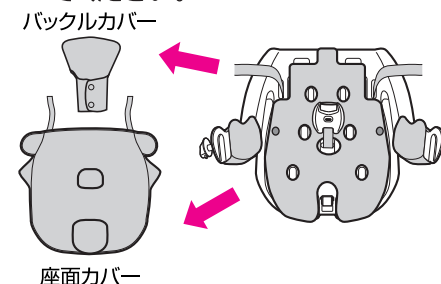
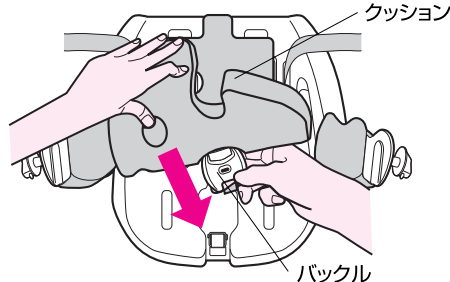
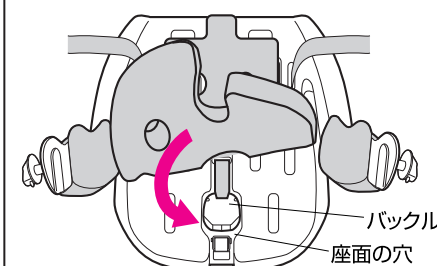
### ハーネスの収納方法(つづき)

**7** 本体を寝かせ、角度調節パーツの解除つまみを下図の赤い矢印の方向に回してロックを解除し、外側に引き出します。解除つまみは角度調節パーツから外れないようになっています。無理に引っ張って抜かないでください。

**8** 本体正面から背もたれと座面の間に手を入れ、背もたれカバー内側の面ファスナーを外し、座面を背もたれと水平になるまで倒します。

参考

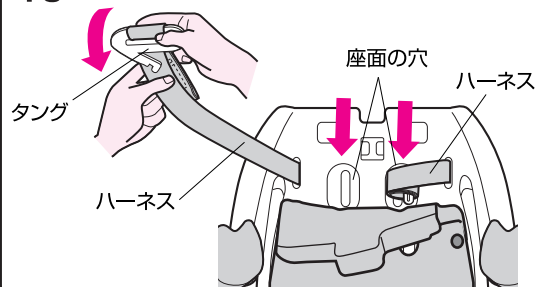
背もたれカバーの内側に座面と背もたれをつなぐ、面ファスナーが付いています。

**9** 背もたれを上に持ち上げ、座面と背もたれを外します。

**10** 背もたれ下側の穴からハーネスハンガーを手前に出します。

**11** 座面側面(左右2ヶ所)と後側(2ヶ所)にある、カバーのピンを外します。

参考

ピンを抜く際、固いことがあります。

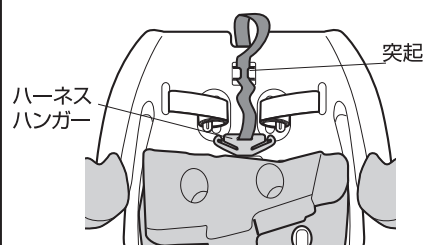
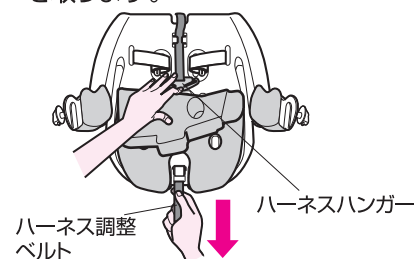
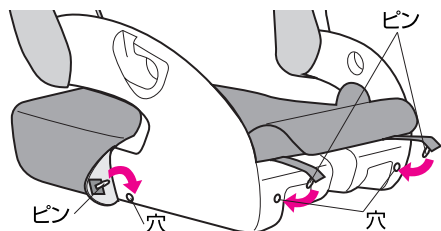
**12** バックルカバーと座面カバーを座面から取外します。バックルカバーはなくさないように大切に保管してください。

**13** クッションをめくりバックルをクッションの下に引き出します。

**14** バックルを前に倒し、座面の穴へ収納します。

# 4.ジュニアシートモード(15kg～36kg)の使用方法

## ジュニアシートモードへの変更方法(つづき)

### ハーネスの収納方法(つづき)

**15** タングにハーネスを巻きつけ、座面の穴へ収納します。

参考

- ハーネスとタングは、しっかりと穴に入っていなくても、大きく動かない程度に収まっていれば、問題ありません。
- タングに巻きつけたハーネスは、多少ゆるみがあっても問題ありません。

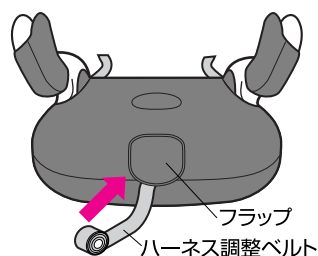
**16** ハーネスハンガーのベルトを突起の下を通し、ハーネスを収納した穴の前の位置に置きます。

**17** ハーネスハンガーを押さえながら、ハーネス調整ベルトを引っ張り、ハーネスハンガーのベルトのたるみを取ります。

**18** 正面から座面カバーをかぶせ、座面側面(左右2ヶ所)と後側(2ヶ所)の穴に、カバーのピンをそれぞれ差込みます。

**19** ハーネス調整ベルトは丸めてフラップの内側に収納してください。

**20** 背もたれと座面を組み合わせます。

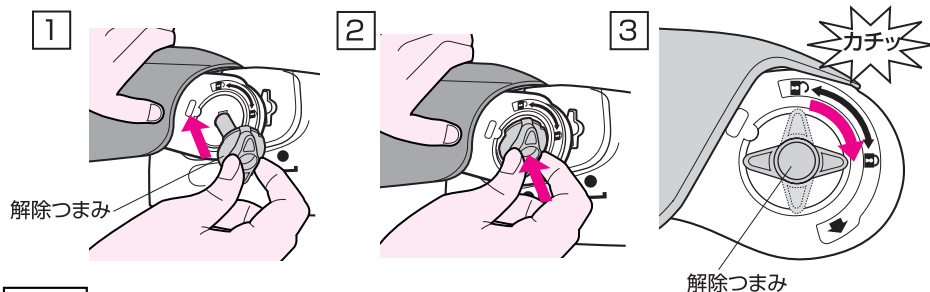
**21** 左右の角度調節パーツにある青色の矢印を背もたれの溝(1段目または2段目)と合わせます。

**22** 左右の角度調節パーツの青色の矢印を背もたれの溝に沿って押込みます。

注意

解除つまみは外側に出した状態で押込んでください。

## ジュニアシートモードへの変更方法(つづき)

### ハーネスの収納方法(つづき)

**23** 解除つまみを下図のようにしっかりと奥まで差込み、解除つまみを回してロックします。

**参考**

解除つまみが入りにくい場合は、角度調節パーツの位置を少し動かし、入りやすい場所を探してください。

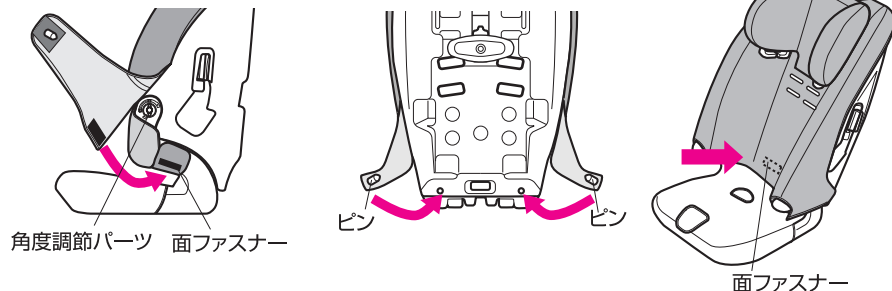
**⚠注意**

- ロックをする時は解除つまみを可動範囲以上には回さないでください。無理な操作は破損の原因になります。
- 解除つまみが可動範囲以上に回る状態では、確実にロックがされていません。

**24** 背もたれカバーをもとに戻します。

1 背もたれカバー側面の面ファスナー(左右2ヶ所)を付けます。

2 背もたれ裏側下部にあるピン(2ヶ所)を差込みます。

3 背もたれ内側の面ファスナーをとめます。

## ヘッドレストの位置の合わせかた

**⚠警告**

- ヘッドレストを操作する際は、ジュニアシートモードに変更してから行ってください。(ジュニアシートモードへの変更方法→P30～P36)
- ヘッドレストを操作する際は肩ハーネス通し穴に指を入れないでください。指をはさむ危険性があります。また、操作中に周りの方が、指を入れないように注意してください。

ご使用前に、肩シートベルトが正しい位置に通るように、ヘッドレストの高さを調節してください。肩ベルト通し部が肩のすぐ上にくる位置が適切です。

### ヘッドレストの動かしかた

**1** 本体裏側にある高さ調節レバーを引きます。

**2** 高さ調節レバーを引いたままもう片方の手でヘッドレストを動かします。

**3** ヘッドレストの位置が決まったら、高さ調節レバーを溝に戻します。

**⚠注意**

- 高さ調節レバーはかならず溝に入れて固定してください。
- ヘッドレストを動かす際には、必ずヘッドレストを持ちながら操作してください。

# 4.ジュニアシートモード(15kg~36kg)の使用方法

## 取付け前の準備

●車のシートにスライド機能がついている場合は、できるだけ後ろに下げてください。
●本品の背もたれの角度を変更して使用する場合には、お子さまを乗せる前に行ってください。(背もたれの角度調節方法→P14~P16)
●ヘッドレストの高さが最適な位置になっているか、確認してください。
(ヘッドレストの位置の合わせかた→P37)

## お子さまの乗せかた

**参考**

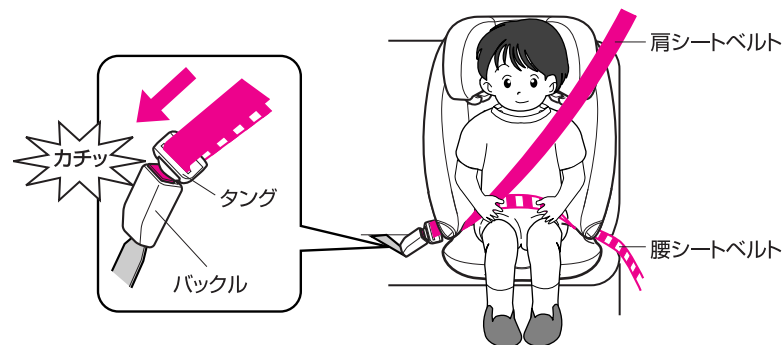
お子さまの乗せかたのイラストは後席左側に取付けた場合のものです。

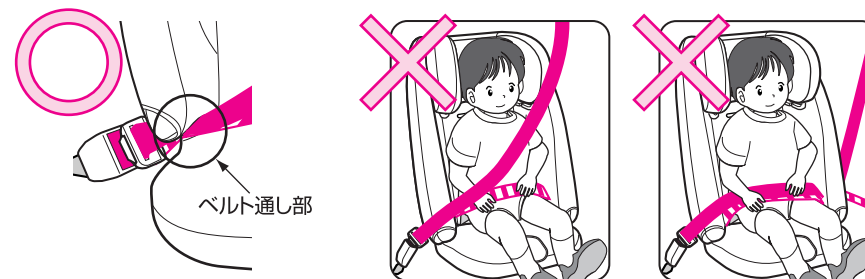
**1** 取付けを行う座席に本品を置きます。本品の座面と背もたれは車のシートの座面と背もたれに密着させて置いてください。特に、座面の先端と背もたれの上部は必ずシートとの間に隙間がないようにしてください。
車の座席のヘッドレストが本品と当たり、密着できない場合には、車の座席のヘッドレストを上げるか、取外してください。

**参考**

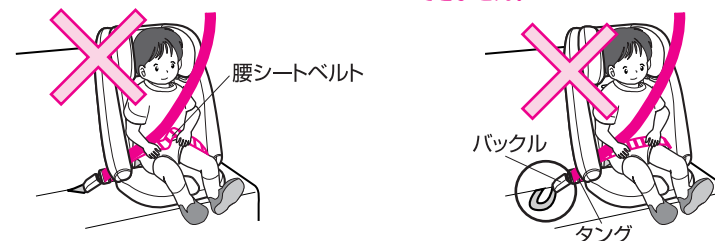
●車の座席がリクライニングできる場合には、本品の背もたれが車の座席と密着するように、リクライニングの角度を調節してください。
●車の座席がリクライニング出来ない場合は、本品の背もたれの角度を調節してください。
(背もたれの角度調節方法→P14~P16)

**2** お子さまの背中と背もたれが密着するように、シートに深く座らせます。

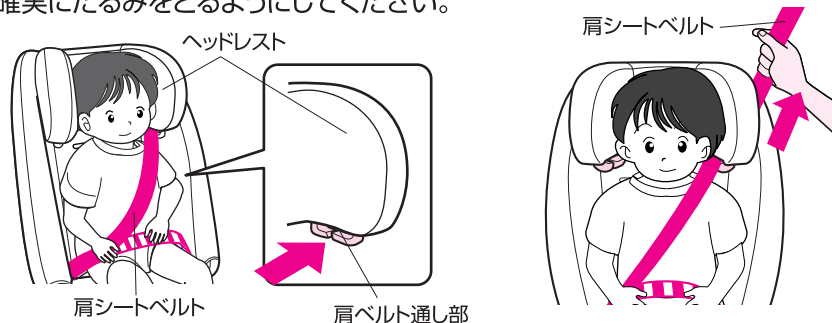
両側のベルト通し部に腰シートベルトを通し、タングをバックルにカチッと音がするまで差込みます。

**⚠警告**

●バックル側のベルト通し部には、肩シートベルト、腰シートベルトの両方を通してください。ベルトストッパー側のベルト通し部には腰シートベルトのみを通してください。

●腰シートベルトがお子さまの骨盤上を通り、ゆるみがないようにしっかりと拘束してください。

●タングをバックルに差込んだ状態でシートベルトが正しく取付けできない座席には取付けできません。

**参考**

取付けに関してご不明な点がありましたら、巻末に記載の当社サービスセンターにお問合わせください。

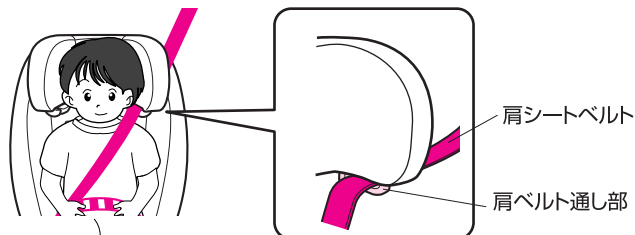
## お子さまの乗せかた(つづき)

**4** 肩ベルト通し部に肩シートベルトを通し、シートベルトを引っ張りたるみをなくします。シートベルトを引っ張るときは、シートベルトが巻き戻る方向に引き、確実にたるみをとるようにしてください。

**5** 肩シートベルトが正しい位置で通っているか、肩ベルト通し部の位置を確認します。

参考

肩よりも下を通っている

肩のすぐ上を通っている

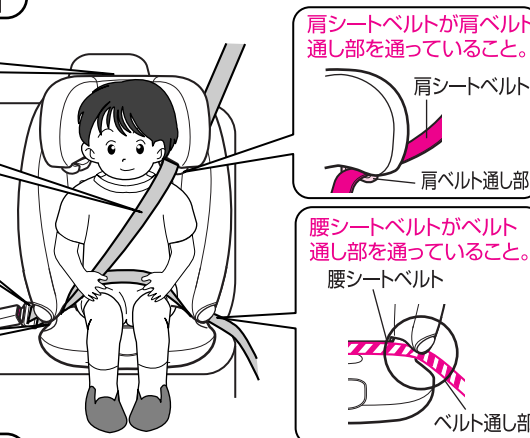
ベルトの通る位置が高すぎる

**警告**

- 肩ベルト通し部の位置はお子さまを座らせたときに、肩シートベルトがお子さまの肩のすぐ上を通る位置が最適です。お子さまの首に肩シートベルトがかかっていないことを確認してください。
- 肩ベルト通し部が肩のすぐ上を通っていない場合は、ヘッドレストの高さを変えてください。(ヘッドレストの動かしかた→P37)



## 出発前のチェック

### 後席の左側へ、取付けた場合

- お子さまの後頭部がヘッドレストから出ていないこと。
- 車のシートベルトにねじれやたるみがないこと。
- 車のシートベルトのタングがバックルに確実に差込まれていること。
- 肩シートベルト及び腰シートベルトがベルト通し部を通っていること。(ベルト通し部)
- 肩シートベルトが肩ベルト通し部を通っていること。(肩シートベルト/肩ベルト通し部)
- 腰シートベルトがベルト通し部を通っていること。(腰シートベルト/ベルト通し部)

### 後席の右側へ、取付けた場合

**警告**

- 完成図のように取付けられていない場合は、初めから取付け直してください。
- 乗車中にお子さまがシートベルトで遊ばないように注意してください。

## お子さまの降ろしかた

車のシートベルトを外し、お子さまを降ろします。

**警告**

お子さまを乗せていないときでも、本品をシートベルトで固定するか、トランクなどに収納してください。

**注意**

お子さまを降ろす際に、シートベルトがドア側でたるむことがあります。ドアを閉める際は、シートベルトをはさまないように注意してください。

# 5. ブースターシートモード(22kg〜36kg)の使用方法

体重が22kg以上36kg以下のお子さまの場合、チャイルドシートのハーネスは使用せず、車のシートベルトで直接お子さまを拘束します。
ブースターシートモードでは本品の背もたれを取外し、座面だけで使用します。

**参考**

体重が15kg以上36kg以下のお子さまの場合、ジュニアシートモードでも使用できます。より快適にご使用いただくために、ジュニアシートモードでの使用をお勧めします。(ジュニアシートモードの使用方法→P30〜P41)

## ブースターシートモードへの変更方法

ブースターシートモードにする前に、ハーネスを座面に収納してください。背もたれが外しやすくなります。また、ハーネスの収納方法はジュニアシートモードの変更方法をご覧ください。(ジュニアシートモードへの変更方法→P30〜P36)

## 背もたれの取外しかた

**⚠警告**

- 背もたれを取外す際は安全な場所に車を止め、お子さまを本品から降ろし、シートベルトを本品から外した状態で行ってください。
- 背もたれを取り外す際は、操作者やその近くにいる人が、座面と背もたれの間に指や手をはさまないように気をつけてください。

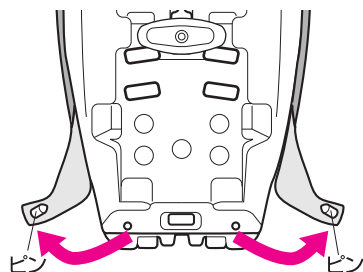
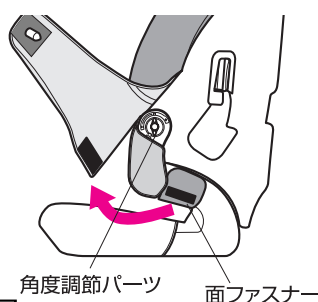
**1** 背もたれ側面のカバーをめくり、角度調節パーツを出します。

1 背もたれ裏側下部にあるピン(2ヶ所)を抜きます。

**参考**

ピンを抜く際、固いことがあります。

2 側面の面ファスナー(左右2ヶ所)を外します。

**参考**

左右のカバーは、クリップなどでまとめておくと、作業がしやすくなります。

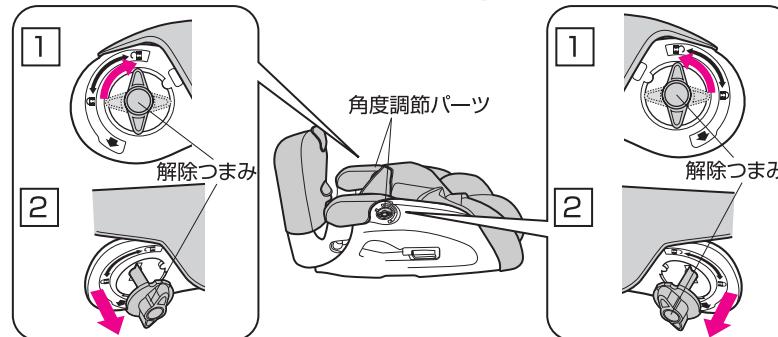
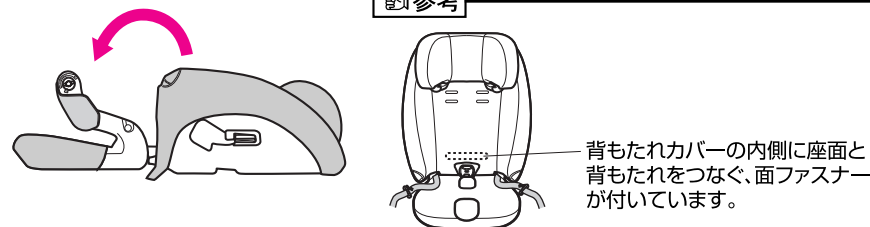
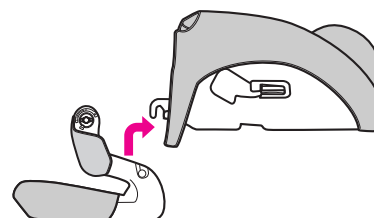
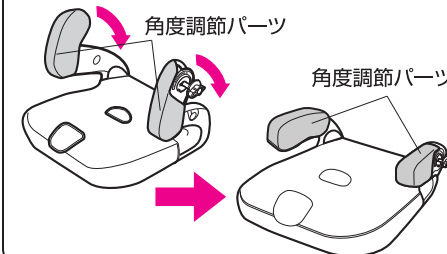


## 背もたれの取外しかた(つづき)

**2** 本体を寝かせ、角度調節パーツの解除つまみを下図の赤い矢印の方向に回してロックを解除し、外側に引き出します。解除つまみは角度調節パーツから外れないようになっています。無理に引っ張って抜かないでください。

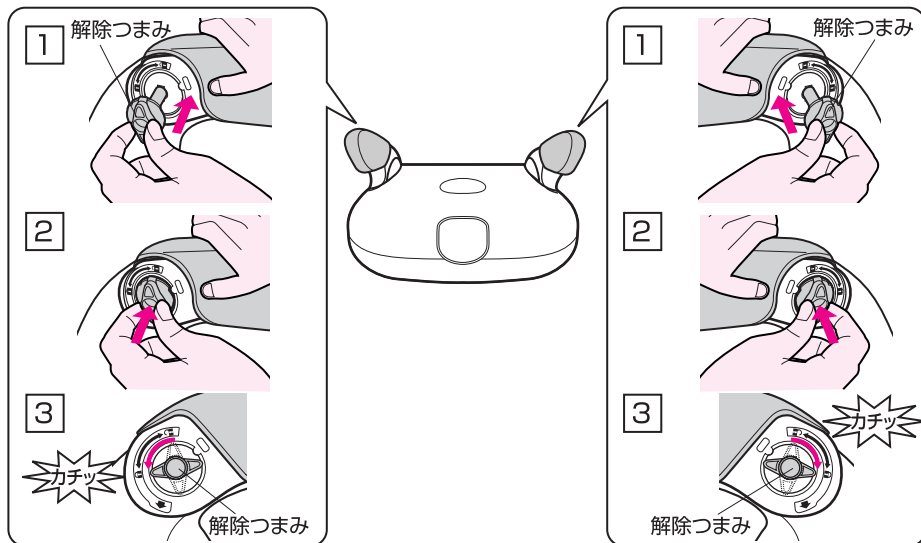
**3** 本体正面で背もたれと座面の間から手を入れ、背もたれカバー内側の面ファスナーを外し、座面を背もたれと水平になるまで倒します。

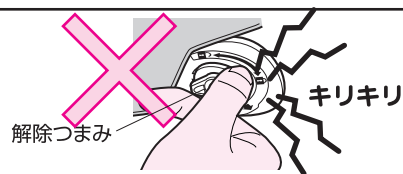
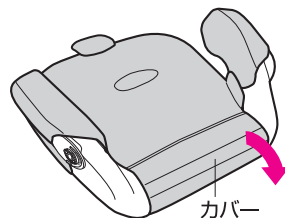
**参考**

背もたれカバーの内側に座面と背もたれをつなぐ、面ファスナーが付いています。

**4** 背もたれを上に持ち上げ、座面から背もたれを外します。

**5** 角度調節パーツを倒してベルト通し部にかぶせます。

# 5. ブースターシートモード(22kg〜36kg)の使用方法

## ブースターシートモードへの変更方法(つづき)

### 背もたれの取外しかた(つづき)

**6** 解除つまみを下図のようにしっかりと奥まで差込み、解除つまみを回してロックします。

⚠注意

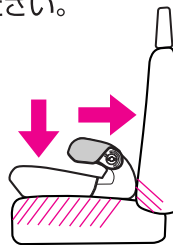
●ロックをする時は解除つまみを可動範囲以上には回さないでください。無理な操作は破損の原因になります。
●解除つまみが可動範囲以上に回る状態では、確実にロックがされていません。

**7** 座面後ろのカバーを下に倒します。

参考

背もたれを取付ける際は、背もたれの取外しかたと、逆の手順で行ってください。



## お子さまの乗せかた

お子さまの乗せかたのイラストは後席左側に取付けた場合のものです。

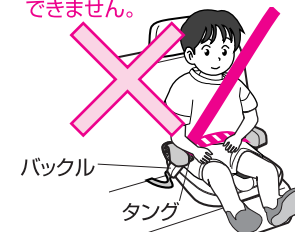
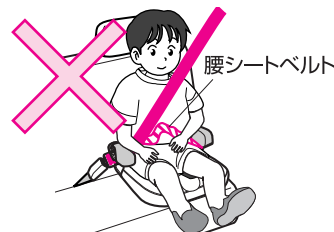
**1** 使用する座席に本品を置きます。本品は車の座席に密着させて置いてください。

**2** お子さまの背中と座席の背もたれが密着するように、シートに深く座らせてください。

**3** 両側のベルト通し部にシートベルトを通し、タングをバックルにカチッと音がするまで差込みます。バックル側の肩シートベルトもベルト通し部の下を通してください。

⚠警告

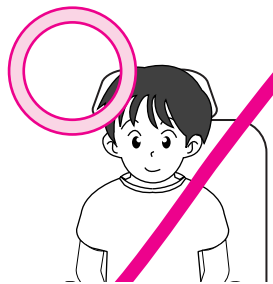
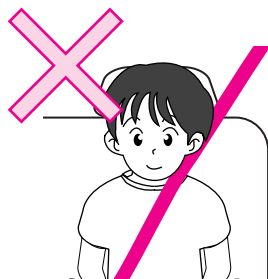
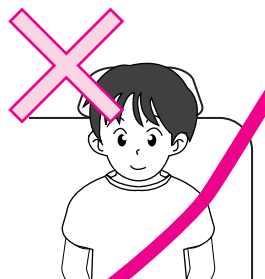
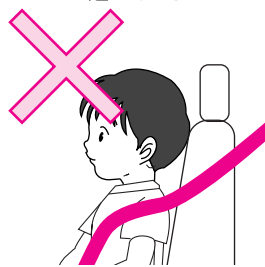
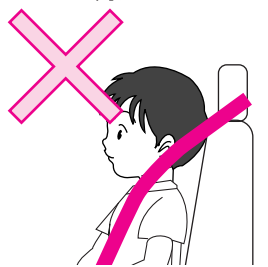
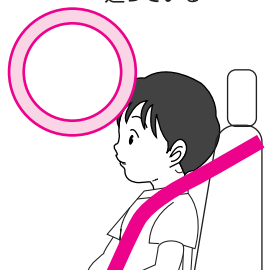
●腰シートベルトがお子さまの骨盤上を通り、ゆるみがないようにしっかりと拘束してください。

●タングをバックルに差込んだ状態でシートベルトが正しく取付けできない座席には取付けできません。

参考

取付けに関してご不明な点がありましたら、巻末に記載の当社サービスセンターにお問合わせください。

# 5. ブースターシートモード(22kg〜36kg)の使用方法

## お子さまの乗せかた(つづき)

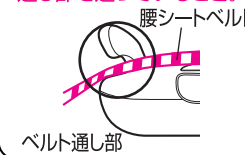
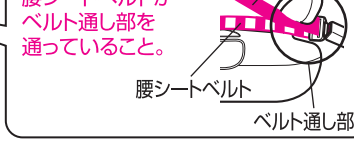
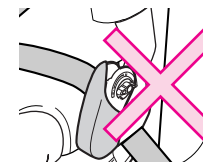
**4** シートベルトのたるみをなくし、車の肩シートベルトの高さが調節できる場合はお子さまの肩のすぐ上をシートベルトが通るように調節してください。

⚠警告

肩シートベルトはお子さまの肩のすぐ上を通る位置が最適です。お子さまの首に肩シートベルトがかかっている場合には、背もたれを付けてジュニアシートモードで使用してください。
(ジュニアシートモードの使用方法→P30〜P41)



## 出発前のチェック

### 後席の左側へ、取付けた場合

### 後席の右側へ、取付けた場合

- 完成図のように取付けられていない場合は、初めから取付け直してください。
- 左右の角度調節パーツは座面に確実にロックしてください。ロックが不十分だと、お子さまや同乗者の方が指などをはさみ危険です。

## お子さまの降ろしかた

バックルから車のシートベルトを外し、お子さまを降ろします。

お子さまを乗せていないときでも、本品をシートベルトで固定するか、トランクなどに収納してください。

# 6. ジュニアシートモード、ブースターシートモードからチャイルドシートモードへの戻しかた

ジュニアシートモードまたはブースターシートモードからチャイルドシートモード（梱包時の状態）への戻し方です。ジュニアシートモードから戻す時には、**1**から順に行ってください。ブースターシートモードから戻す時は、**5**から順に行ってください。

## 1 背もたれ側面のカバーをめくり、角度調節パーツを出します。

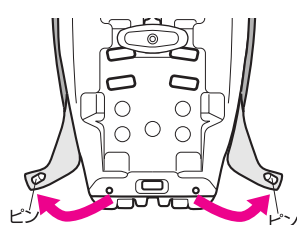
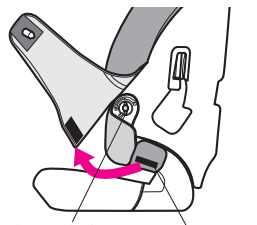
1 背もたれ裏側下部にあるピン（2ヶ所）を抜きます。

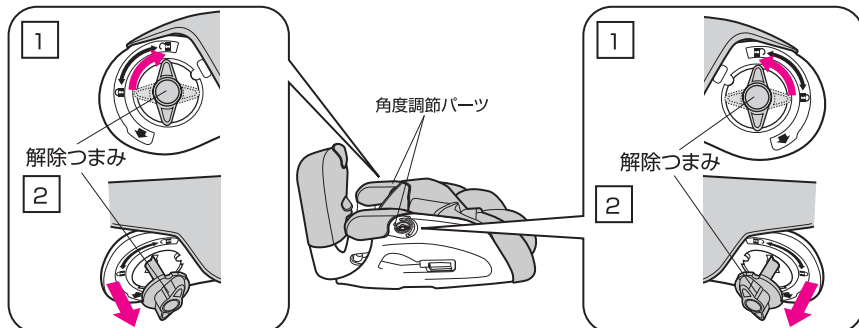
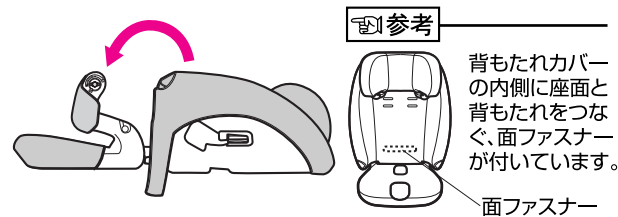
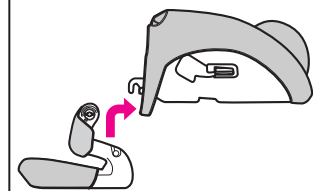
参考

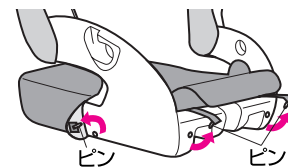
ピンを抜く際、固いことがあります。

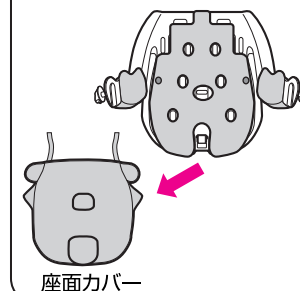
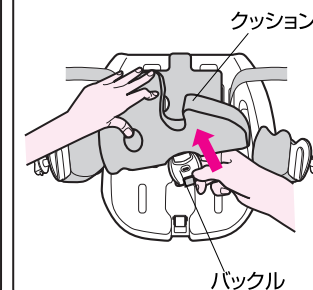
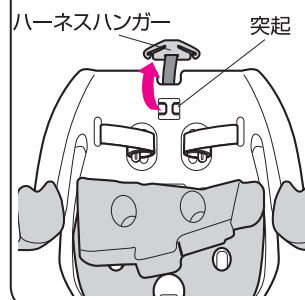
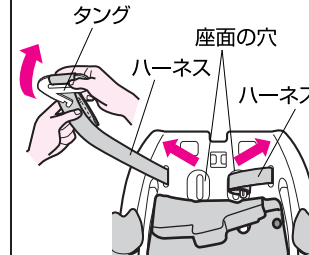
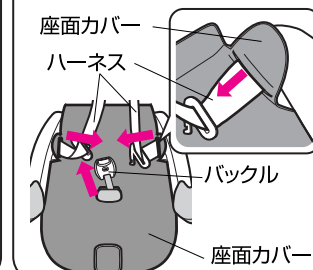
2 側面の面ファスナー（左右2ヶ所）を外します。

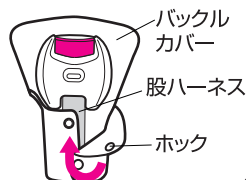
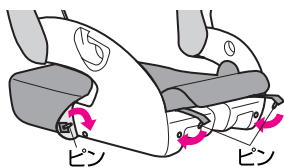
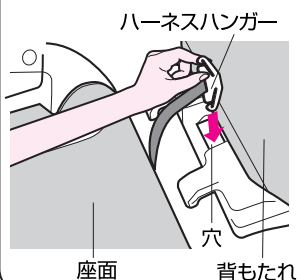
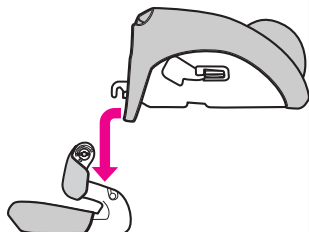
角度調節パーツ
面ファスナー

参考

左右のカバーは、クリップなどでまとめておくと、作業がしやすくなります。

## 2 本体を寝かせ、角度調節パーツの解除つまみを下図の赤い矢印の方向に回してロックを解除し、外側に引き出します。解除つまみは角度調節パーツから外れないようになっています。無理に引っ張って抜かないでください。

## 3 本体正面で背もたれと座面の間から手を入れ、背もたれカバー内側の面ファスナーを外し、座面を背もたれと水平になるまで倒します。

## 4 背もたれを上に持ち上げ、座面から背もたれを外します。

## 5 座面側面（左右2ヶ所）と後側（2ヶ所）にある、カバーのピンを外します。

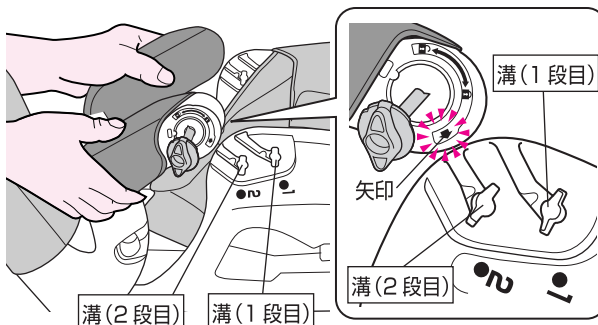
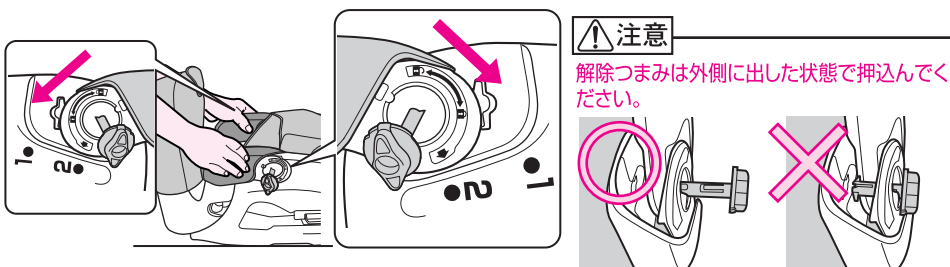
参考

ピンを抜く際、固いことがあります。

## 6 座面カバーを座面から取外します。

## 7 クッションをめくりバックルをクッションの穴から引き出します。

## 8 突起からハーネスハンガーのベルトを外します。

## 9 座面の穴から丸めたハーネスを取り出します。

## 10 座面カバーを座面にかぶせ、バックルとハーネスをカバーの穴に通します。

# 6. ジュニアシートモード、ブースターシートモードからチャイルドシートモードへの戻しかた

**11** バックルカバーのホックが前側になるように、バックルにバックルカバーをあて、股ハーネスを包むようにして、ホック（2ヶ所）を留めます。

**12** 座面側面（左右2ヶ所）と後側（2ヶ所）にある、カバーのピンを差込みます。

**13** 背もたれ下側の穴にハーネスハンガーを通します。

**14** 背もたれと座面を組み合わせます。

**15** 左右の角度調節パーツにある青色の矢印を背もたれの溝（1段目または2段目）と合わせます。

**16** 左右の角度調節パーツの青色の矢印を背もたれの溝に沿って押込みます。

**⚠注意**

解除つまみは外側に出した状態で押込んでください。

**17** 解除つまみを下図のようにしっかりと奥まで差込み、解除つまみを回してロックします。

**参考**

解除つまみが入りにくい場合は、角度調節パーツの位置を少し動かし、入りやすい場所を探してください。

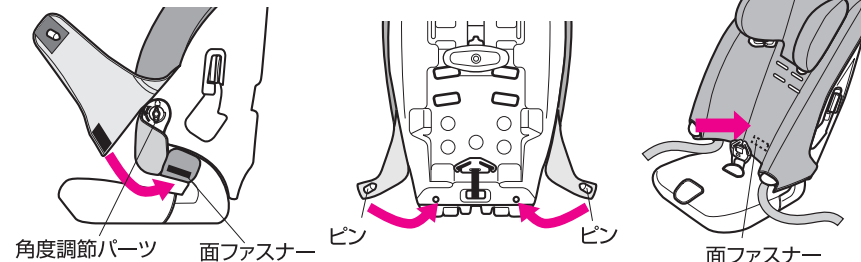
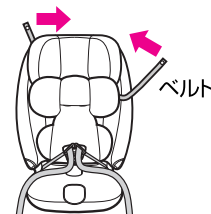
**⚠注意**

- ロックをする時は解除つまみを可動範囲以上には回さないでください。無理な操作は破損の原因になります。
- 解除つまみが可動範囲以上に回る状態では、確実にロックがされていません。

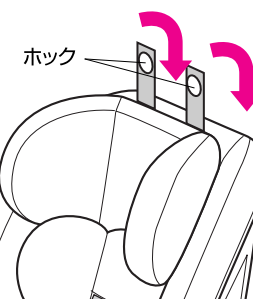
**18** 背もたれカバーをもとに戻します。

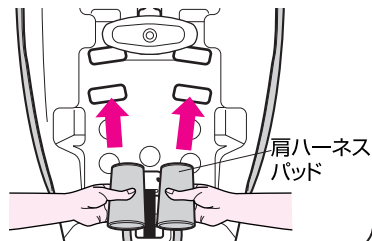
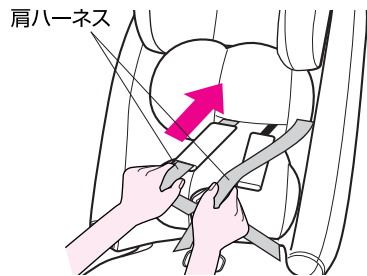
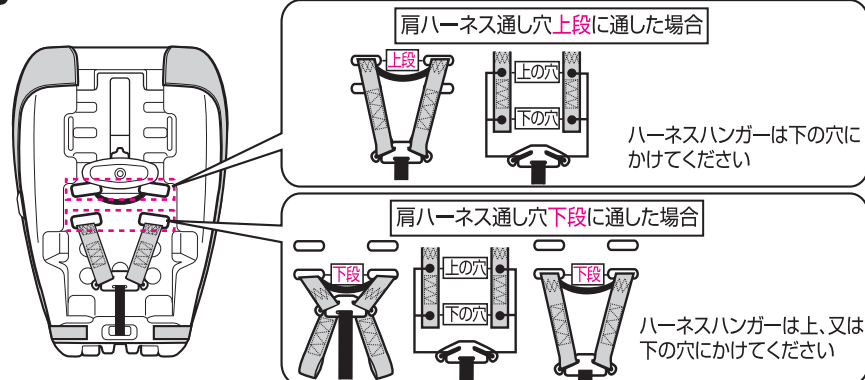
1 背もたれカバー側面の面ファスナー（左右2ヶ所）を付けます。

2 背もたれ裏側下部にあるピン（2ヶ所）を差込みます。

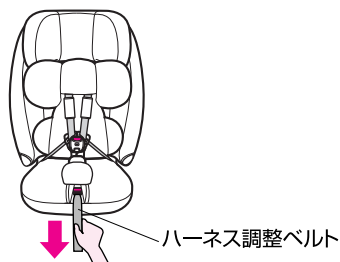
3 背もたれ内側の面ファスナーをとめます。

**19** サポートクッションについているベルトをヘッドレストと背もたれの間に通します。

**⚠注意**

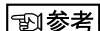
肩ハーネス通し穴を上段で使用する場合は、サポートクッションは使用しないでください。

**20** サポートクッションのベルトに付いているホックをヘッドレストの後ろに付いているホックに取付けます。

# 6. ジュニアシートモード、ブースターシートモードからチャイルドシートモードへの戻しかた

**21** 本体裏側から肩ハーネスパッドを差込みます。ゴム面が下になるように差込んでください。

**22** 本体正面から、肩ハーネスパッドに肩ハーネスを通します。

**23** 本体裏側でハーネスハンガーに肩ハーネスを通します。

⚠警告

- 肩ハーネス通し穴下段に通した際のハーネスハンガーのかける位置は、お子さまの体格に合わせて決定してください。(P27)
- 肩ハーネスはハーネスハンガーの切り込みが見えるように正しくかけてください。正しくかけないと、肩ハーネスが外れるおそれがあります。
- 肩ハーネスが半がかりにならないようにしてください。
- 肩ハーネス、ハーネスハンガーが付いているベルトは、ねじれないようにしてください。

**24** 本体を正面に向け、ハーネス調整ベルトを引っ張り、ハーネスのたるみを取ります。

# 7. お手入れのしかた

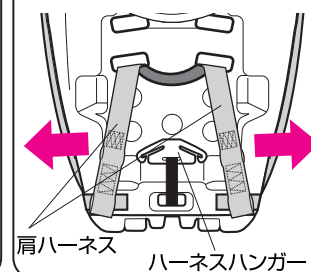
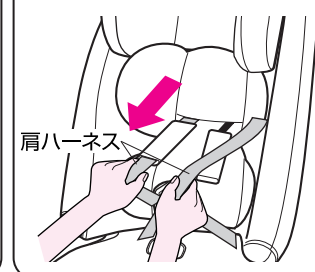
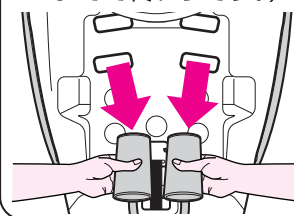
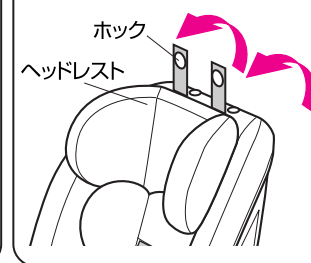
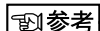
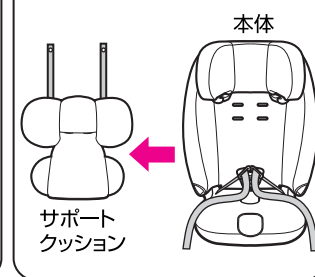
## カバーの取外しかた

参考

各部の名称→P5～P6

### 肩ハーネスパッド・サポートクッション

サポートクッションを取外すためには、先に肩ハーネスパッドを取外す必要があります。

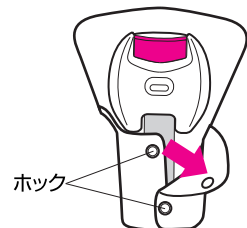
**1** ハーネス調整レバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、ハーネスをゆるめます。

**2** 本体裏側でハーネスハンガーから肩ハーネスを外します。

**3** 本体正面から肩ハーネスを引き抜きます。

**4** 本体裏側から肩ハーネスパッドを引き抜きます。(肩ハーネスパッドの取外しかたはここまでで終わりです。)

**5** ヘッドレストの後ろにあるホックを外します。

**6** サポートクッションを本体から取外します。

参考

サポートクッションを洗濯する際はクッションを取外してください

## カバーの取外しかた(つづき)

### バックルカバー

ホック(2ヶ所)を外し、バックルカバーを取外します。

### 背もたれカバー

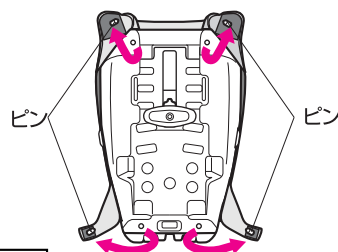
背もたれカバーを取外す前にハーネス、肩ハーネスパッド、サポートクッションを取外してください。(肩ハーネスパッド、サポートクッションの取外しかた→P53)

**1** 本体裏側のピン(4ヶ所)を抜きます。

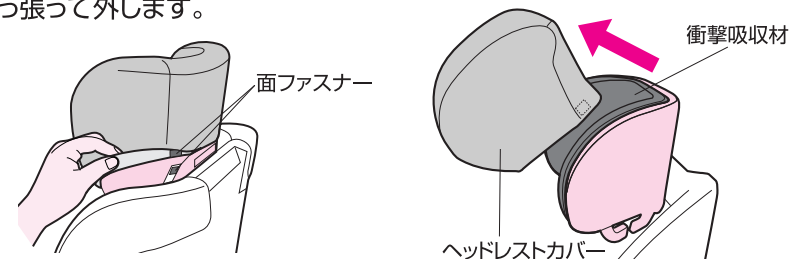
参考
ピンを抜く際、固いことがあります。

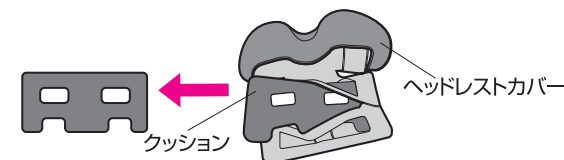
**2** 本体側面の面ファスナー(左右2ヶ所)を外します。

**3** 背もたれカバー内側と座面の面ファスナーを外し、背もたれカバーを取外します。

参考
背もたれカバーを洗濯する際は、クッションを取外してください。2枚のクッションが重ねて入れてあります。クッションをカバーに戻す際は、大きい方のクッションがお子さまの背中に近い方にくるように重ねて入れてください。

### ヘッドレストカバー

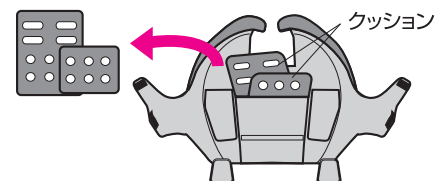
ヘッドレストカバーを取外す前にハーネスと肩ハーネスパッドを肩ハーネス通し穴から外してください。ヘッドレストは1番上に上げると作業がしやすくなります。

ヘッドレスト後側の面ファスナー(左右2ヶ所)を外し、ヘッドレストカバーを前方へ引っ張って外します。

⚠注意
ヘッドレストの衝撃吸収材は取外さないでください。

参考
ヘッドレストカバーを洗濯する際はクッションを取外してください。

### 角度調節パーツカバー

カバーの取外しは角度調節パーツを背もたれや座面から外した状態で行ってください。

**1** 角度調節パーツ内側プレートをめくります。

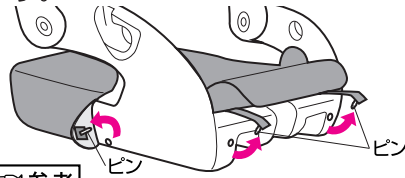
**2** 角度調節パーツからカバーを取外します。

## カバーの取外しかた(つづき)

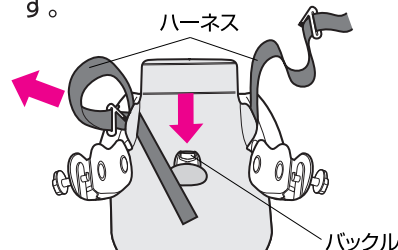
### 座面カバー

**1** 座面側面(左右2ヶ所)と後側(2ヶ所)にある、カバーのピンを外します。

ピン

ピン

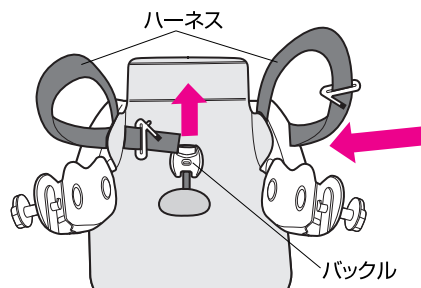
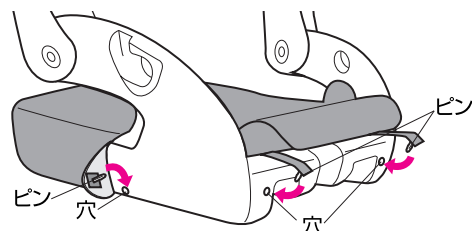
参考

ピンを抜く際、固いことがあります。

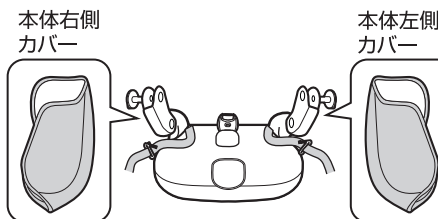
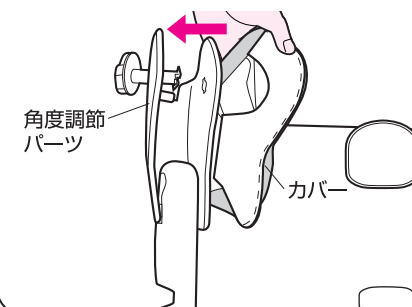
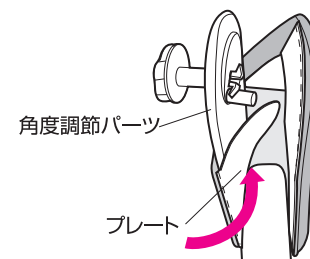
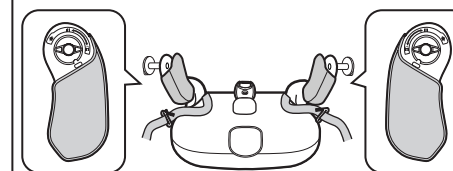
**2** 座面カバーからハーネス、バックルを引き抜きカバーを取り外します。

## カバーの取付けかた

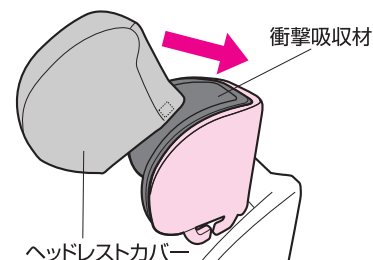
### 座面カバー

**1** 座面カバーにハーネス、バックルを通しカバーをかぶせます。

ハーネス

バックル

**2** 座面側面(左右2ヶ所)と後側(2ヶ所)の穴に、カバーのピンをそれぞれ差込みます。

### 角度調節パーツカバー

**1** カバーには左右があります。注意して取付けしてください。

**2** 角度調節パーツに内側からカバーをかぶせます。

**3** 角度調節パーツをくるむように、外側からもプレートをかぶせます。

**4** イラストのように取付けられていれば完成です。

### ヘッドレストカバー

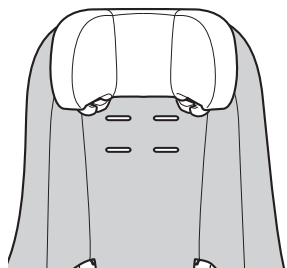
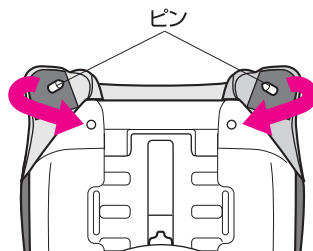
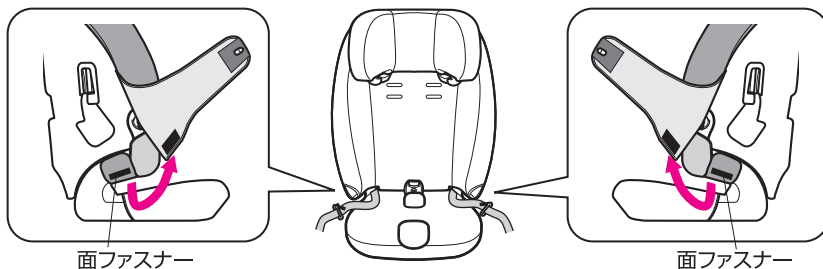
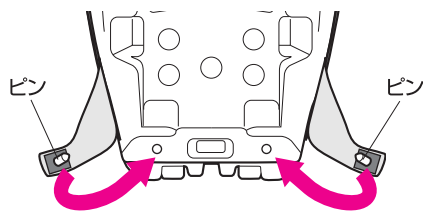
**1** ヘッドレストにヘッドレストカバーをかぶせます。

**2** ヘッドレストカバーのベルトを後ろに回し、面ファスナー(左右2ヶ所)でとめます。

面ファスナー

ベルト

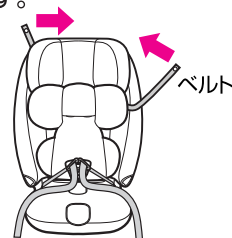
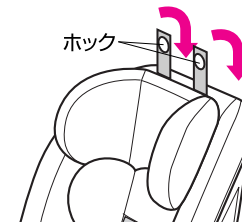
## カバーの取付けかた(つづき)

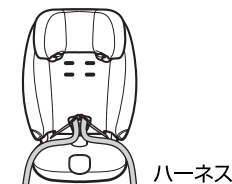
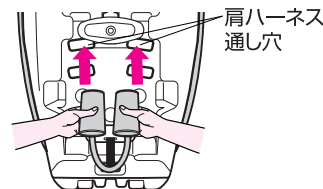
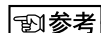
### 背もたれカバー

**1** 背もたれに背もたれカバーをかぶせます。

**2** 本体裏側上部のピン(2ヶ所)を差込みます。

**3** 本体側面の面ファスナー(左右2ヶ所)を付けます。

**4** 本体裏側下部のピン(2ヶ所)を差込みます。

**5** 背もたれ内側の面ファスナーをとめます。

### サポートクッション

⚠警告
サポートクッションは肩ハーネス通し穴を下段で使用する場合のみ使用してください。
(梱包時には取り付けてあります。)

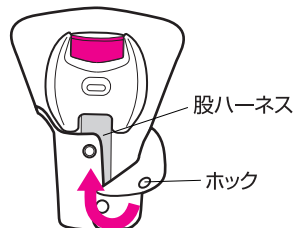
**1** サポートクッションについているベルトをヘッドレストと背もたれの間に通します。

**2** サポートクッションのベルトに付いているホックをヘッドレストの後ろに付いているホックに取付けます。

### 肩ハーネスパッド

肩ハーネスパッドを取付ける前に、ハーネスをハーネス通し穴から外してください。

**1** お子さまの肩の位置に合う方の肩ハーネス通し穴に、本体裏側から差込みます。ゴム面が下になるように差込んでください。

**2** 本体正面から肩ハーネスパッドを引っ張り出します。

参考
肩ハーネスの通し方は肩ハーネス位置の変更方法P17～P20を参考にしてください。

# 7. お手入れのしかた

## カバーの取付けかた（つづき）

### バックルカバー

バックルカバーのホックが前側になるように、バックルにバックルカバーをあて、股ハーネスを包むようにして、ホック（2ヶ所）を留めます。

## 製品のお手入れ

⚠警告

本品の樹脂部分やハーネスを洗浄する際に、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。破損につながるおそれがあります。

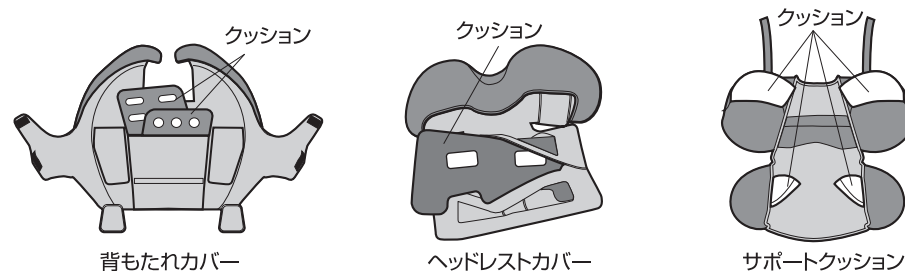
| 洗濯上の注意 | |
|---|---|
| 手洗イ 40 中性 | 40℃以下の液温で手洗いしてください。 |
| エンソサラシ（×） | 塩素系漂白剤による漂白はできません。 |
| 低 | アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。 |
| ドライ（×） | ドライクリーニングはしないでください。 |
| （×） | ねじり絞りは避けてください。 |
| | 形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。 |

●カバーの取外しかた→P53～P56
●カバーの取付けかた→P56～P60



## 製品のお手入れ

⚠注意

●肩ハーネスパッドは洗濯できません。
●本品に付属しているクッション類は洗濯できません。背もたれカバー、ヘッドレストカバー、サポートクッションを洗濯する際は、中のクッションを取り出してください。クッションが汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤を布などに塗布し、水気をよくしぼってから拭き取ってください。シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

参考

本品はクッション性能向上のため、カバーやクッションにウレタンフォームを使用しています。ウレタンフォームの特性上、変色する場合がありますが、ご使用上の問題はございません。

# 8. 製品仕様・保管方法・廃棄方法

## 製品仕様

| | |
|---|---|
| 製品サイズ | H680×W500×D510mm<br>（背もたれ角度1段目でヘッドレストを一番下げた状態） |
| 製品質量 | 8kg |

## 製品材質

| | |
|---|---|
| 本体材質 | ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリカーボネート等 |
| ヘッドレスト衝撃吸収材 | 発泡ポリプロピレン |
| 本体カバー(表生地/裏生地) | ポリエステル/ウレタンフォーム |
| 本体クッション | ウレタンフォーム |
| サポートクッション(表生地/裏生地) | ポリエステル/ウレタンフォーム |

## 保管方法

●ヘッドレストは一番下げた状態、背もたれの角度は一段目にして保管してください。
●本品に市販の袋等をかぶせて、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

## 廃棄方法

●お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分、廃棄してください。
●事故により処分する場合は、油性ペン等で本品の目立つところに「事故品」と記入してください。

**参考**

事故にあった場合は、車のシートやシートベルトを自動車ディーラー等で点検することをお勧めします。



# 9. 保証書

本証書は、下記の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を当社サービスセンターまたはご購入の販売店にご提示の上、お問合わせください。

記

〈保証規定〉

1. 保証期間内（ご購入日より3年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
   A. 樹脂（プラスチック）部品の自然劣化による変色。
   B. 本体やカバー、サポートクッション等の縫製部品の汚れや損傷。
   C. お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
   D. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
   F. 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
   E. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
   G. 本証書のご提示がない場合。
   H. 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   I. 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
3. 一度ご使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
4. 衝突事故など一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理ができないことがあります。
6. 日本国内のみ有効。

●ご購入後、ご使用になる前に必ず記入してください。製造番号は背もたれの裏面のラベルに記載されております。

<table>
<tr><td colspan="2">商品名<br>エールベベ・クローバ</td><td colspan="2">製造番号　※L09LC12345などの英数字</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご購入日　　年　　月　　日</td><td colspan="2">保証期間　ご購入日より3年間<br>（但し保証規定による）</td></tr>
<tr><td colspan="4">お名前</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所　〒</td><td colspan="2">TEL.</td></tr>
<tr><td>販売店</td><td>ご購入店名</td><td colspan="2">住所<br>TEL.</td></tr>
<tr><td colspan="4">修理メモ</td></tr>
</table>

ご購入後、お客様名、ご購入日、販売店名をただちにご記入願います。
万が一故障が生じました場合は本証書をご提示ください。本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。この保証書は、本証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。



CAR MATE　株式会社カーメイト
本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11